MAN-253D/M021E　KHV0　2025年12月22日発行

LIXIL

可動式日除け 彩風（あやかぜ）C型・CR型

手動タイプ

取付け説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠注 意	●取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

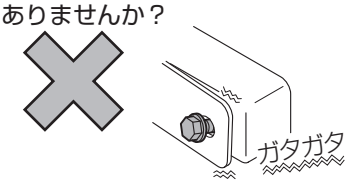
＜取付けされる方へのお願い＞

●組立て後、以下の項目通り施工されているか確認してください。

チェックシート

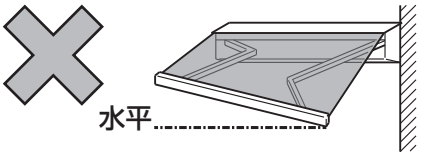
確認後チェック欄に☑マークしてください。

☐ ボルト・ねじのゆるみ、締め忘れはありませんか？



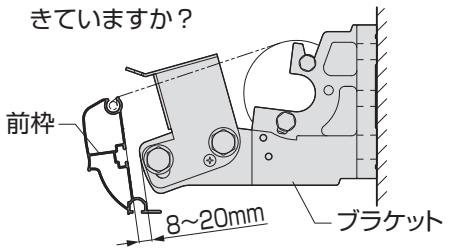
製品破損のおそれがあります。

☐ 前枠は水平になっていますか？

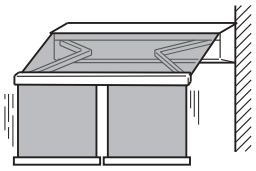


ケース内に収納できない場合があります。
アームがねじれ、開閉時に異音が発生する場合があります。

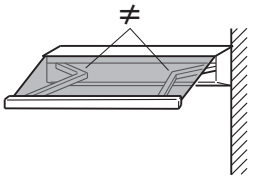
☐ 前枠の収納位置は所定の位置にきていますか？

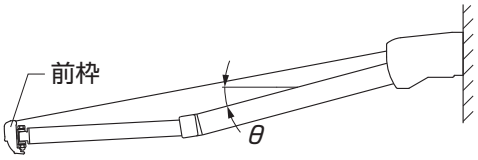


☐ 彩風CR型の前枠スクリーンの巻き上げスピードを調整しましたか？



☐ アーム角度は左右同じになっていますか？





前枠が水平にならない場合があります。

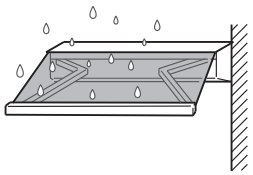
MAN-253D_202511
M021_202511E

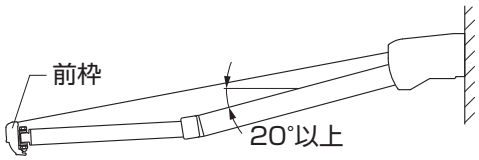
<取付けされる方へのお願い　つづき>

チェックシート

確認後チェック欄に ☑ マークしてください。

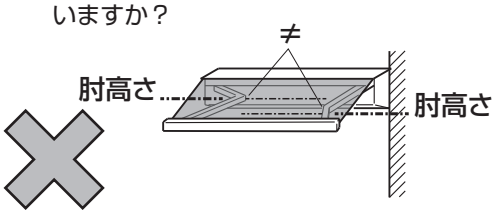
☐ 雨天使用希望の場合、アーム角度を20度以上に設定しましたか？





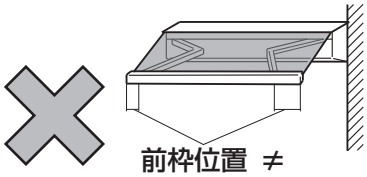
キャンバスに水がたまる場合があります。

☐ アームの肘の高さは左右揃っていますか？



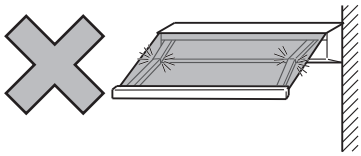
ケース内に収納できない場合があります。
アームがねじれ、開閉時に異音が発生する場合があります。

☐ アームの前枠への固定位置は左右で揃っていますか？



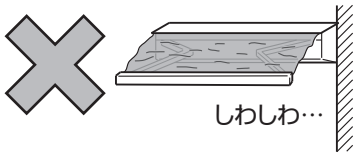
ケース内に収納できない場合があります。
アームがねじれ、開閉時に異音が発生する場合があります。

☐ キャンバスを最大に張り出したときアームが伸びきっていませんか？



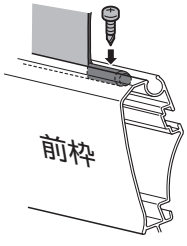
キャンバスがたるみ、収納する力が重くなります。

☐ キャンバスに寄れやたるみはありませんか？



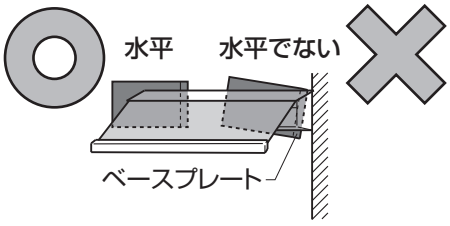
キャンバスに巻きじわができる場合があります。

☐ キャンバスのチューブを前枠に固定しましたか？



キャンバスがずれる場合があります。

☐ ベースプレートがある場合、躯体に水平に取付いていますか？



組立てできない場合があります。

MAN-253D_202511
M021_202511E

＜取付けされる方へのお願い　つづき＞

⚠ 注 意

●商品が落下・破損するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・ブラケット・ベースプレートは、躯体の柱などの重量・使用に耐えられる構造材に直接取付けてください。
・指定のボルト・ねじで固定してください。
・コーチボルトφ9を使用する場合は、必ず構造材に45mm以上ねじ込んでください。付属のコーチボルトだと長さが足りない場合は、別途用意してください。
・アジャストアンカーφ10（オプション）を使用する場合は、必ずRC本体に45mm以上埋込んでください。
・スクリーンをピンと張った状態で限度テープが見えた場合は、見えない範囲にフック金具を固定し直してください。
・通気工法には専用の通気工法部品が必要です。外壁厚（通気層含む）が30mmを超える場所には取付けできません（30mmを超える場合は、躯体側で取付面製作をお願いします）。また、取付けにはベースプレートを必ず使用してください。
●強いスプリングでアームが伸びてケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・アームをブラケット・前枠に取付け終わるまで、アームバンドを外さないでください。
・アームバンドを外す際は、手で押さえてください。
●漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・指定の個所（特に接続部）にコーキング材を充てんしてください。
・外壁の上から部材を取り付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
・本体取付け前に、ブラケットの周囲にコーキング材が充てんしていることを確認してください。
・シリコーンコーキング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール系コーキング材を使用してください。

コーキング材メーカー	品名および品番	LIXIL商品コード
信越化学工業（株）	シーラント72	WBJ□006 （□にはB・W・T・Kが入ります）
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380	
ダウ・東レ（株）	SE960	

●積雪地域ではベースプレートを通しで入れてください。製品破損のおそれがあります。
●製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
・ボルト、ねじは弊社純正の規定本数を使い、右記締付けトルクを参照し、固定した後にゆるみがないか確認してください。
・製品の改造は絶対にしないでください。

■締付けトルク
φ4ねじ　：2.5N・m±0.5N・m　（25±5kgf・cm）
φ5ねじ　：3N・m±0.5N・m　（30±5kgf・cm）
M6ボルト　：5.2N・m±0.5N・m　（52±5kgf・cm）
M8ボルト　：12.5N・m±0.5N・m　（125±5kgf・cm）
M10ボルト：24.5N・m±0.5N・m　（245±5kgf・cm）

＜取付け上のお願い＞

●強風（20m/s以上）のとき、又は突風が予想される場合は、必ずキャンバスを巻取ってください。
●雨天時（大雨を除く）にもオーニングを使用したいお施主様の場合には、アーム角度を20°以上にして取付けてください。
●キャンバス生地・フリル生地は汚れ・キズが付きやすいので、特に取扱いに気を付けてください。
●特注寸法でご注文の場合、ケースセットなどは規格寸法品のため現場加工してください。

MAN-253B_202105
M021_202105C

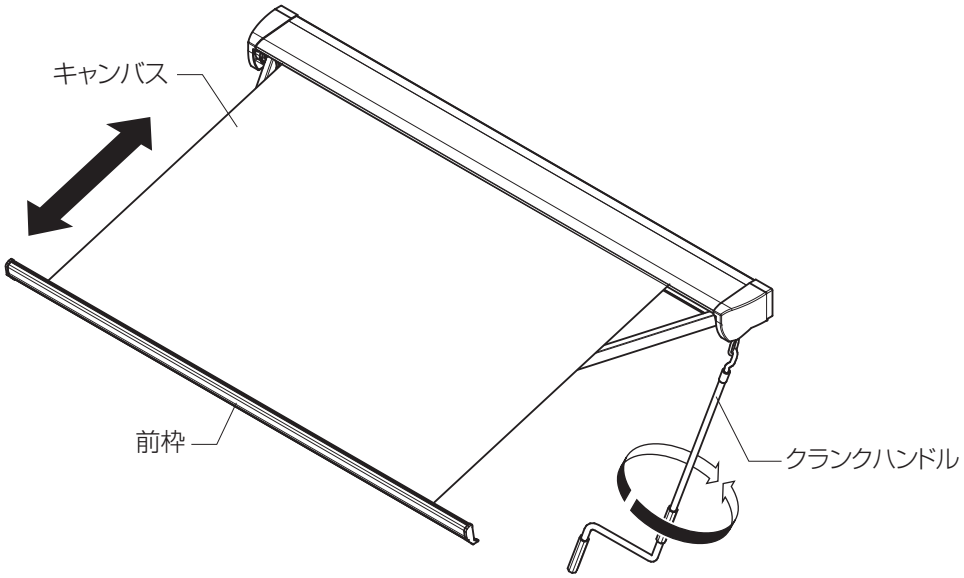
タイプ一覧

※本図は外観右側駆動の仕様になります。

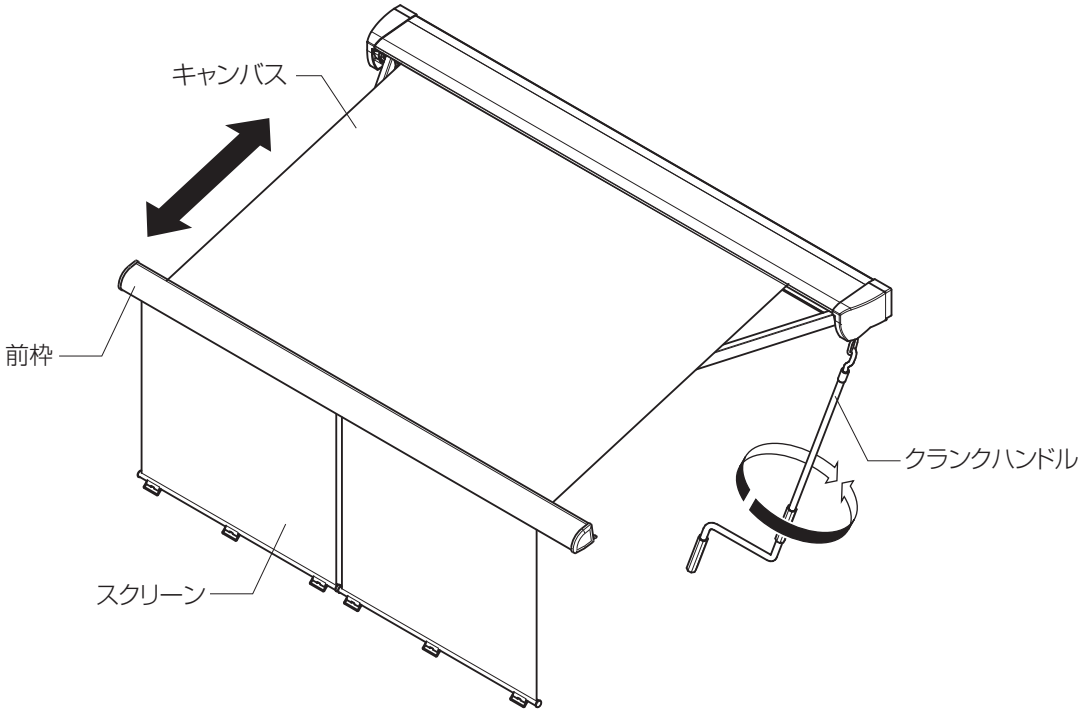
ポイント

●手動ギアをクランクハンドルで操作して開閉します。
●前枠部を除き、C型とCR型は同じ構造です。

C 型



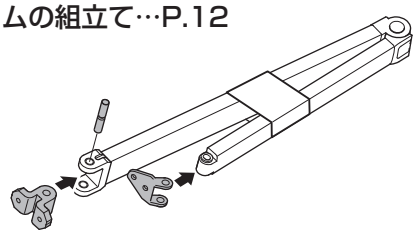
CR型



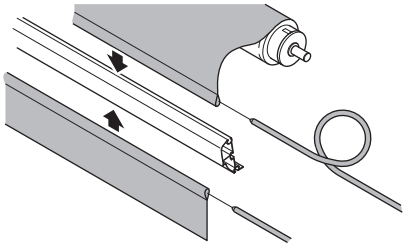
MAN-253A_201507
M021_201507B

施工フロー

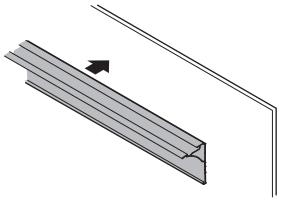
1アームの組立て…P.12



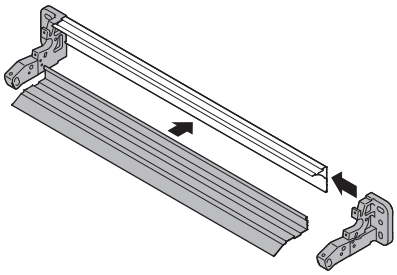
2前枠とキャンバス・フリル オプション の接続…P.12



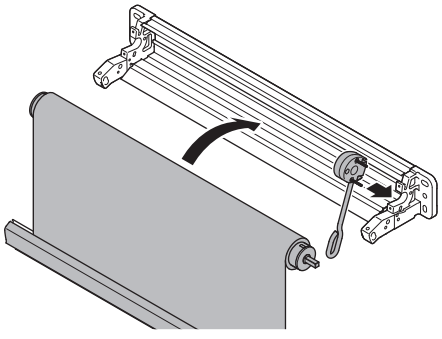
3上ケースホルダーの取付け…P.13



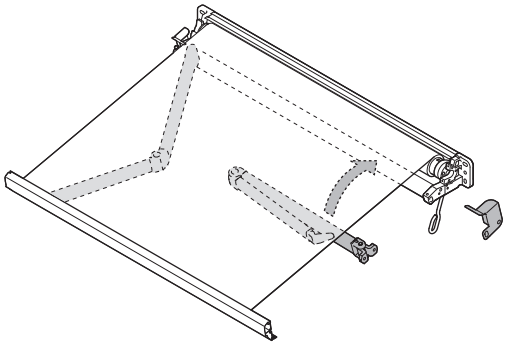
4ブラケットの取付け…P.14
5下ケースの取付け……P.14



6巻取りパイプの取付け…P.15



7アームの取付け…P.16

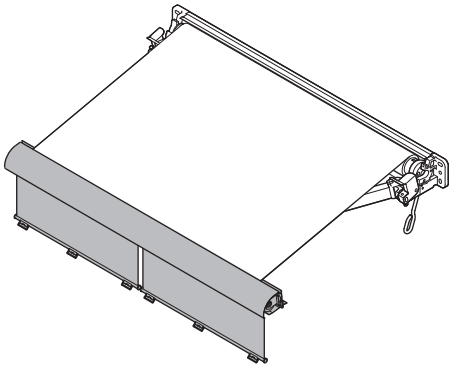


8納まりの確認・調整…P.18

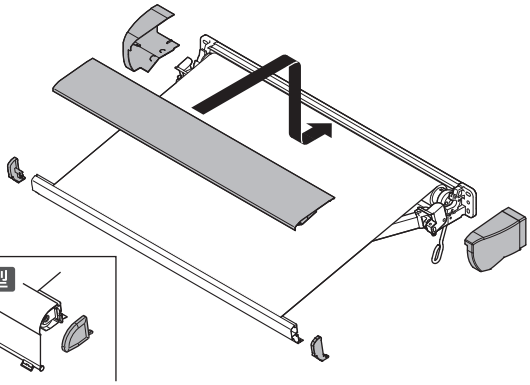
9開閉リミット（限界）調整…P.20

10キャンバスの固定…P.21

11 CR型 スクリーン前枠の取付け…P.21



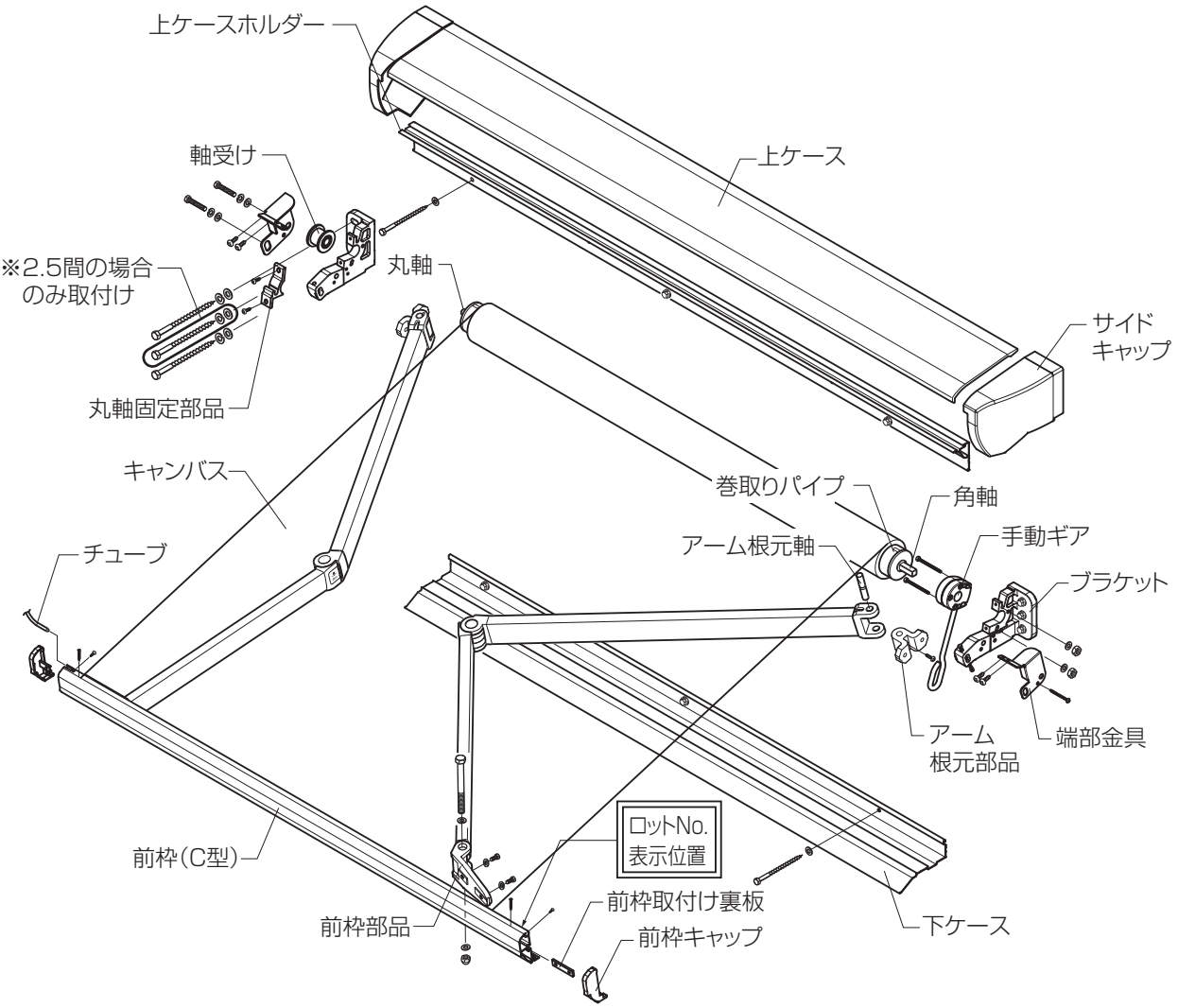
12上ケースの取付け…P.23
13キャップの取付け…P.24



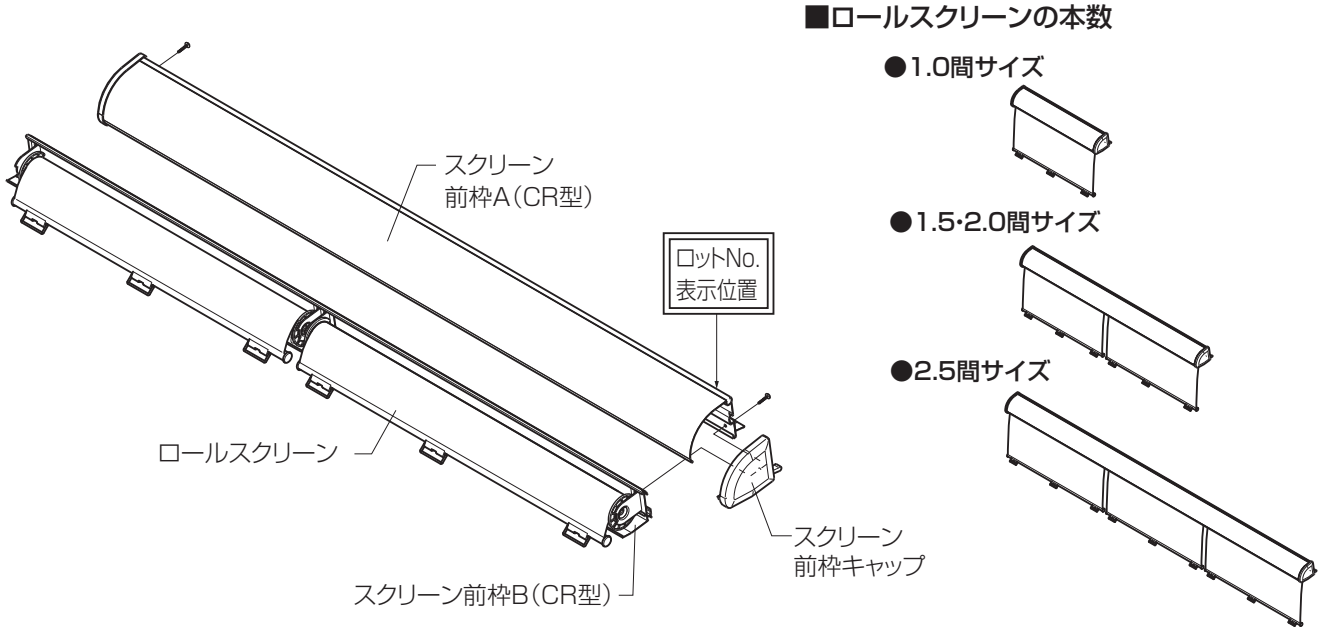
MAN-253A_201507
M021_201507B

構造説明図

C 型 **※本図は外観右側を駆動部とします。**



CR型 **前枠部　※CR型はC型と前枠部以外は同一です。**



■ロールスクリーンの本数

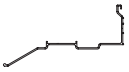
●1.0間サイズ

●1.5･2.0間サイズ

●2.5間サイズ

梱包明細表

【1】ケースセット

名　　称	略　図	員　数	
		1.0~2.0間	2.5間
上ケース		1	1
上ケースホルダー		1	1
下ケース		1	1
前枠 A		1	–
前枠 B		–	1
スクリーン前枠A(CR型用)	–	1	1
【1-1】φ9×100六角コーチボルト	–	–	2
【1-2】M10平ワッシャー	–	–	2
【1-3】M10スプリングワッシャー	–	–	2

【2】本体セット（手動）

名　　称	略　図	員　数
アームA (L･R)		各1
手動ギア		1
本体セット		1
φ6チューブ(ポリエステル生地の場合)	–	1
φ5.5チューブ(アクリル生地の場合)	–	1
ストップマーク	–	1

【3】ベースプレートセット

名　　称	略　図	員　数		
		L=215	L=600	L=3,330 4,240 5,150
ベースプレートC･CR型用		2	2	1
ベースプレート端部キャップ C･CR型用		4	4	–
【3-1】φ8×90六角コーチボルト	–	–	8	–
【3-2】φ9×100六角コーチボルト(ねじ部80)	–	4	–	–
【3-3】M10用平ワッシャー	–	4	8	–
【3-4】M10×30六角ボルト	–	4	4	–
【3-5】M10平ワッシャー(生地色)	–	4	4	–
【3-6】M10スプリングワッシャー	–	4	4	–
【3-7】φ4×10ナベタッピン3種(D=7)	–	4	4	–
【3-8】M10用六角ナット	–	4	4	–

【4】ベースプレートキャップセット

名　　称	略　図	員　数
ベースプレート端部キャップ C･CR型用		2
【4-1】φ4×10ナベタッピン3種(D=7)	–	2

【5】ベースプレートねじセット

名　　称	員　数		
	L=3330	L=4240	L=5150
【5-1】φ8×90六角コーチボルト	11	13	15
【5-2】M10用平ワッシャー(色付)	11	13	15
【5-3】M10×30六角ボルト	4	4	4
【5-4】M10スプリングワッシャー	4	4	4
【5-5】M10用六角ナット	4	4	4
【5-6】M10平ワッシャー(生地色)	4	4	4

MAN-253C_202301
M021_202301D

梱包明細表

【6】ブラケットセット

名　　称	略　図	員　数	
		C型	CR型
C型ブラケットセット (L・R)		各1	各1
C型前枠キャップ (L・R)		各1	–
スクリーン前枠キャップ (L・R)		–	各1
C・CR型サイドキャップ (L・R)		各1	各1
前枠取付裏板		2	2
軸受		1	1
丸軸固定部品		1	1
アーム根元部品		2	2
前枠部品		2	2
端部金具(C・CR型) (L・R)		各1	各1
【6-1】M6×55六角ボルト	–	2	
【6-2】M6平ワッシャー	–	17	
【6-3】M6六角ナット	–	2	
【6-4】φ9×100六角コーチボルト	–	4	
【6-5】φ6×70六角コーチボルト	–	10	
【6-6】φ5×12トラスタッピンねじ3種	–	6	
【6-7】φ5×35ナベタッピンねじ2種(G=5)	–	2	
【6-8】φ4×16ナベドリルねじ	–	4	2
【6-9】φ5×14ナベタッピン3種	–	4	
【6-10】M8×20六角ボルト	–	4	
【6-11】M6×12六角ボルト	–	4	
【6-12】M10×40六角ボルト	–	4	
【6-13】M10平ワッシャー	–	10	
【6-14】M10スプリングワッシャー	–	10	
【6-15】M10×55六角ボルト(ねじ部30)	–	2	
【6-16】M10用六角袋ナット	–	2	
【6-17】φ5×10ナベタッピン2種	–	2	
【6-18】φ4×8トラスタッピンねじ3種	–	–	2
可動式日除け取扱い説明書	–	1	
C型・CR型取付け説明書(手動タイプ)	–	1	
C型・CR型取付け説明書(電動系タイプ)	–	1	

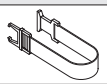
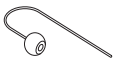
【7】クランクハンドル

名　　称	略　図	員　数
クランクハンドル		1

【8】CR型ロールセット

名　　称	略　図	員　数
前枠ロールスクリーン		1

【9】取付バンドセット

名　　称	略　図	員　数
取付バンド		2
プルロープ		1

【10】フック金具セット

名　　称	略　図	員　数
土間フック金具		1
【10-1】φ5×45皿セルフタップアンカー	–	2
【10-2】φ5×50タッピンねじ1種	–	2
【10-3】M6×35皿小ねじ	–	2
【10-4】M6用ターンナット	–	2

【11】埋込みフックセット

名　　称	略　図	員　数
埋込みフック金具		2
埋込みフックケース		2
【11-1】M6×40ナベ小ねじ	–	2
【11-2】M6用平ワッシャー	–	2
【11-3】M6用袋ナット	–	2
【11-4】φ4×55皿タッピンねじ1種	–	4

【12】13mmスペーサーセット

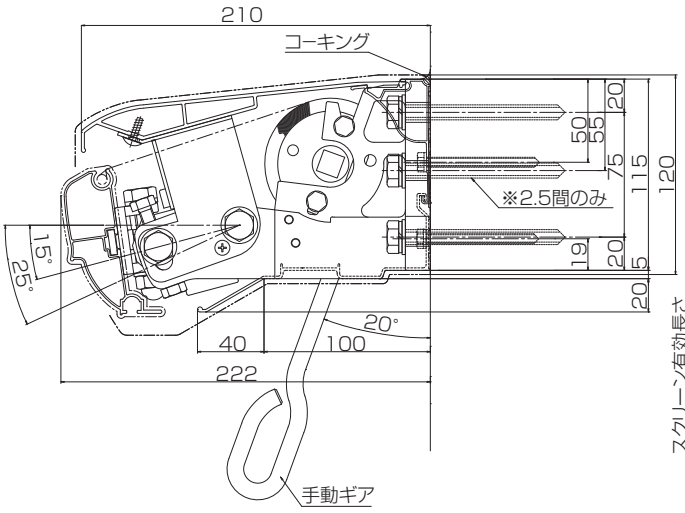
名　　称	略　図	員　数
13mmスペーサー(φ7穴付き)	–	5
クッション材(H15×W10×L2000)	–	3

MAN-253B_202105
M021_202105C

断面納まり図

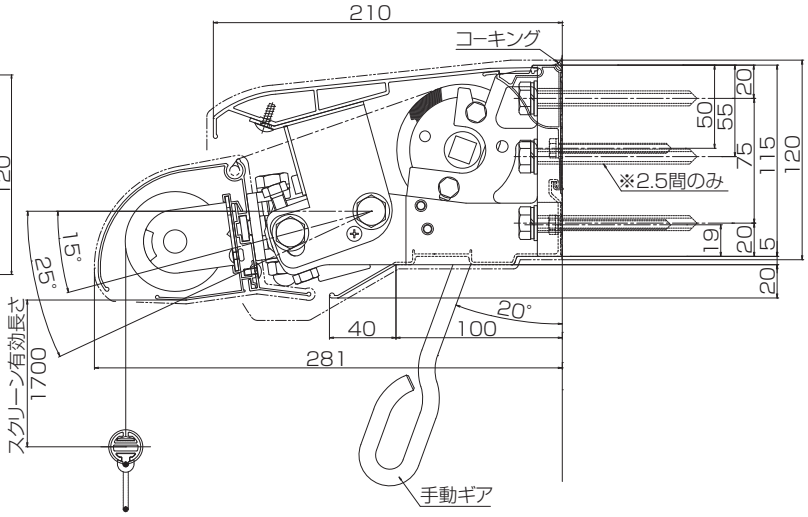
C 型

【手動ギア側基本納まり】



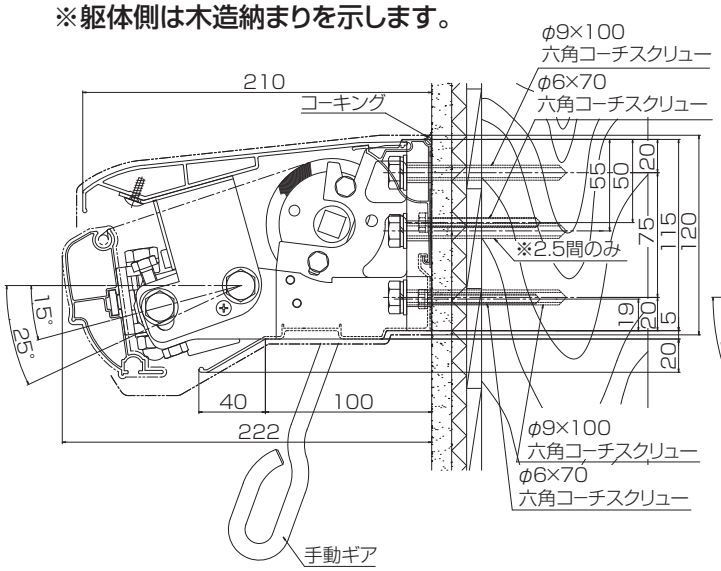
CR型

【手動ギア側基本納まり】

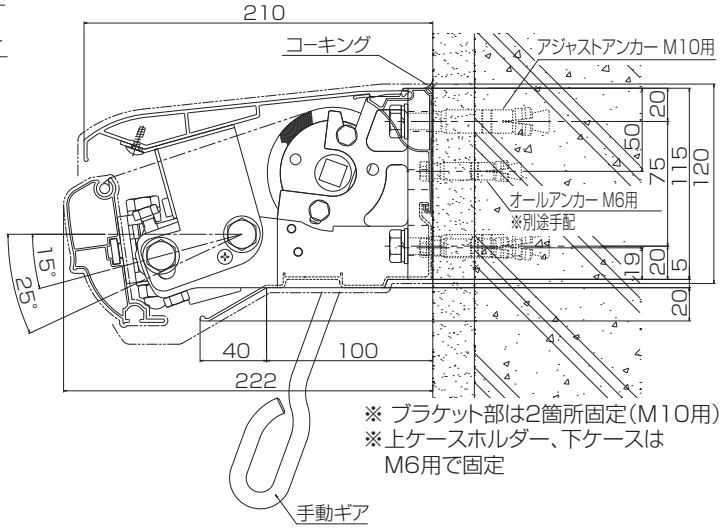


【手動ギア側】

※躯体側は木造納まりを示します。

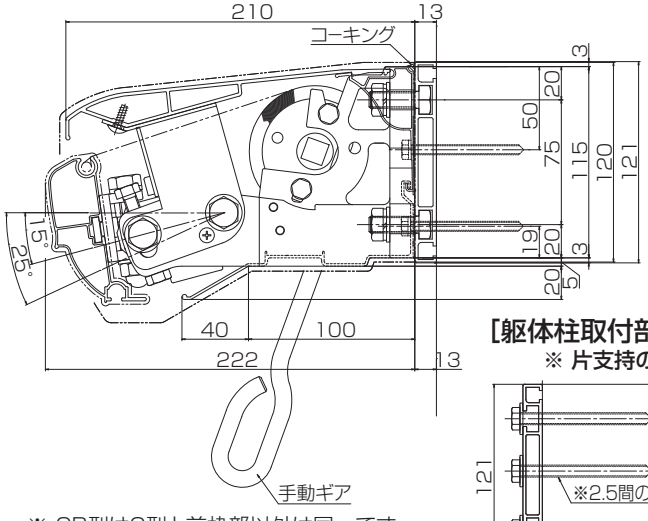


※躯体側はRC納まりを示します。



※ ブラケット部は2箇所固定(M10用)
※上ケースホルダー、下ケースは
M6用で固定

【ベースプレート納まり オプション】



※ CR型はC型と前枠部以外は同一です。

[躯体柱取付部]

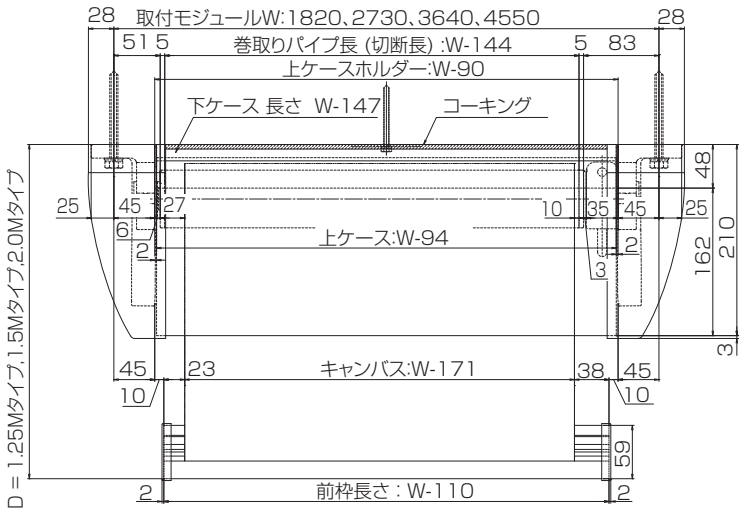
※ 片支持の場合

MAN-253D_202511
M021_202511E

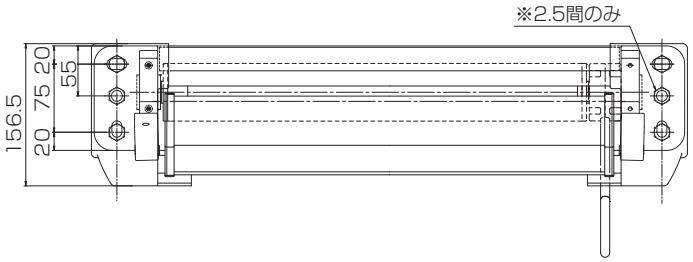
平面納まり図

C 型 ※図は **右駆動** を示します。**左駆動** の場合は左右対称です。

[平面図]

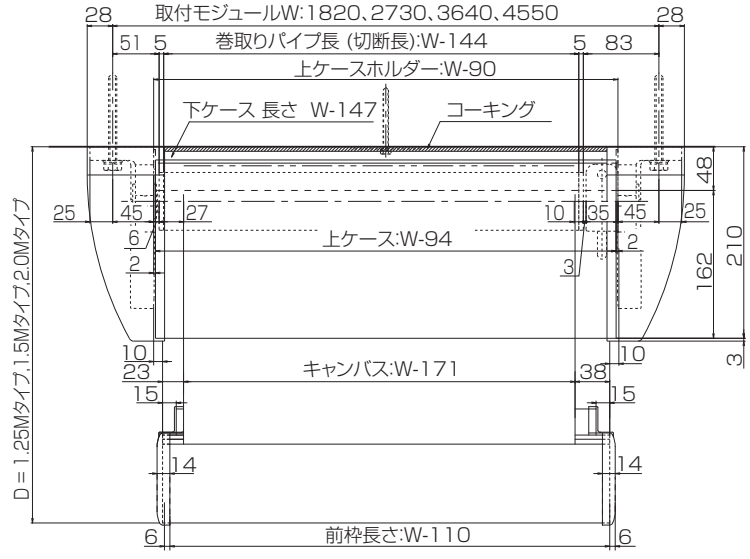


[正面図 (収納時)]

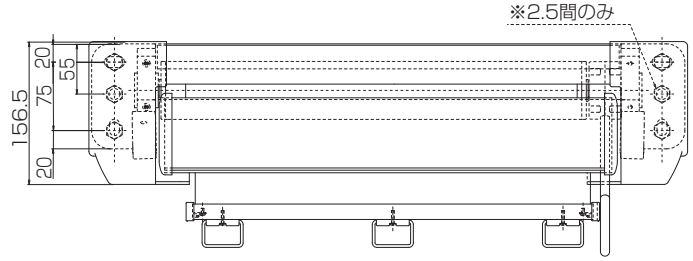


CR型 ※図は **右駆動** を示します。**左駆動** の場合は左右対称です。

[平面図]



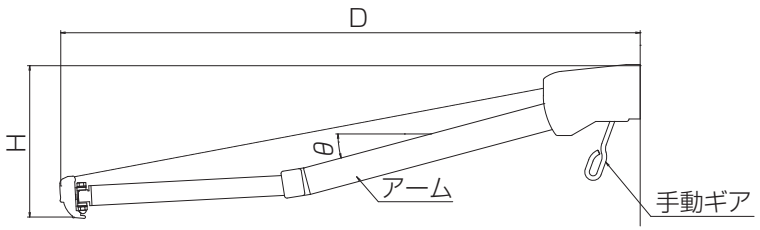
[正面図 (収納時)]



MAN-253D_202511
M021_202511E

出幅とこう配の関係（こう配寸法）

［側面図(張りだし時)］



C 型 H・D寸法（数値は参考値）　（単位:mm）

出幅 / θ角度	1.25m		1.5m		2m	
	D	H	D	H	D	H
15°	1223	279	1483	318	1960	396
20°	1203	376	1458	437	1927	556
25°	1175	471	1424	555	1880	714

CR型 H・D寸法（数値は参考値）　（単位:mm）

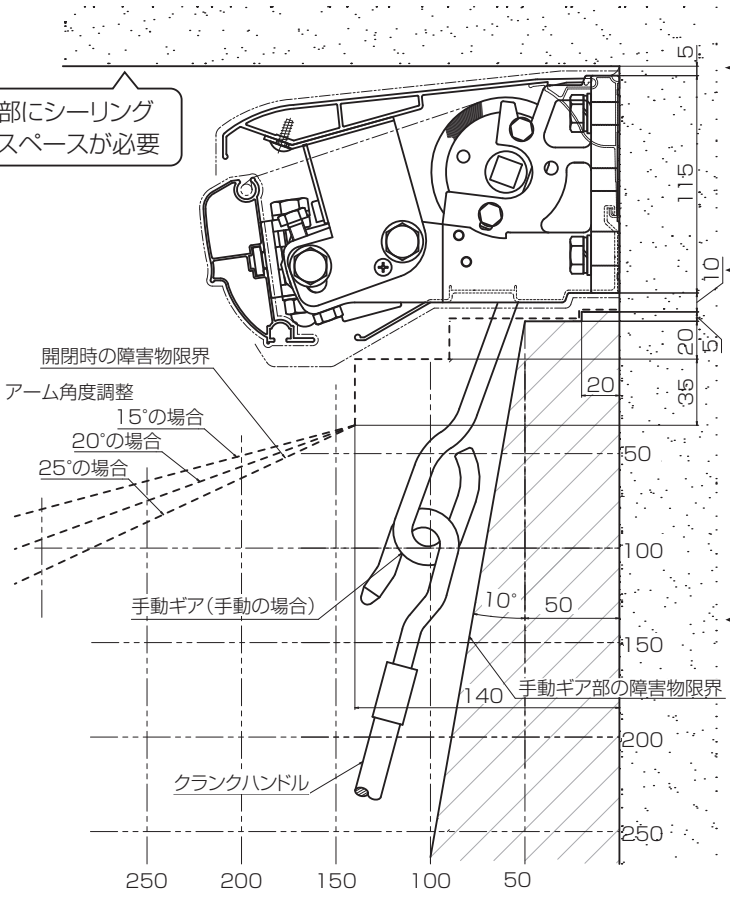
出幅 / θ角度	1.25m		1.5m		2m	
	D	H	D	H	D	H
15°	1283	279	1543	318	2020	396
20°	1259	374	1514	435	1983	554
25°	1226	468	1475	552	1931	711

取付け位置の障害物確認

ポイント

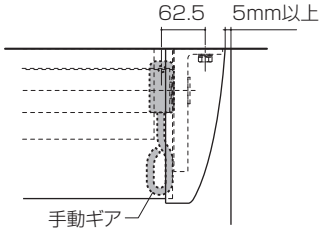
●取付け位置の上下に障害物があると取付けられないことがありますので、下記を確認してください。

C 型 ［取付け位置の障害物対応］



［入隅部分や並べて取付ける場合の間隔］

クランクハンドル(手動ギア)の位置



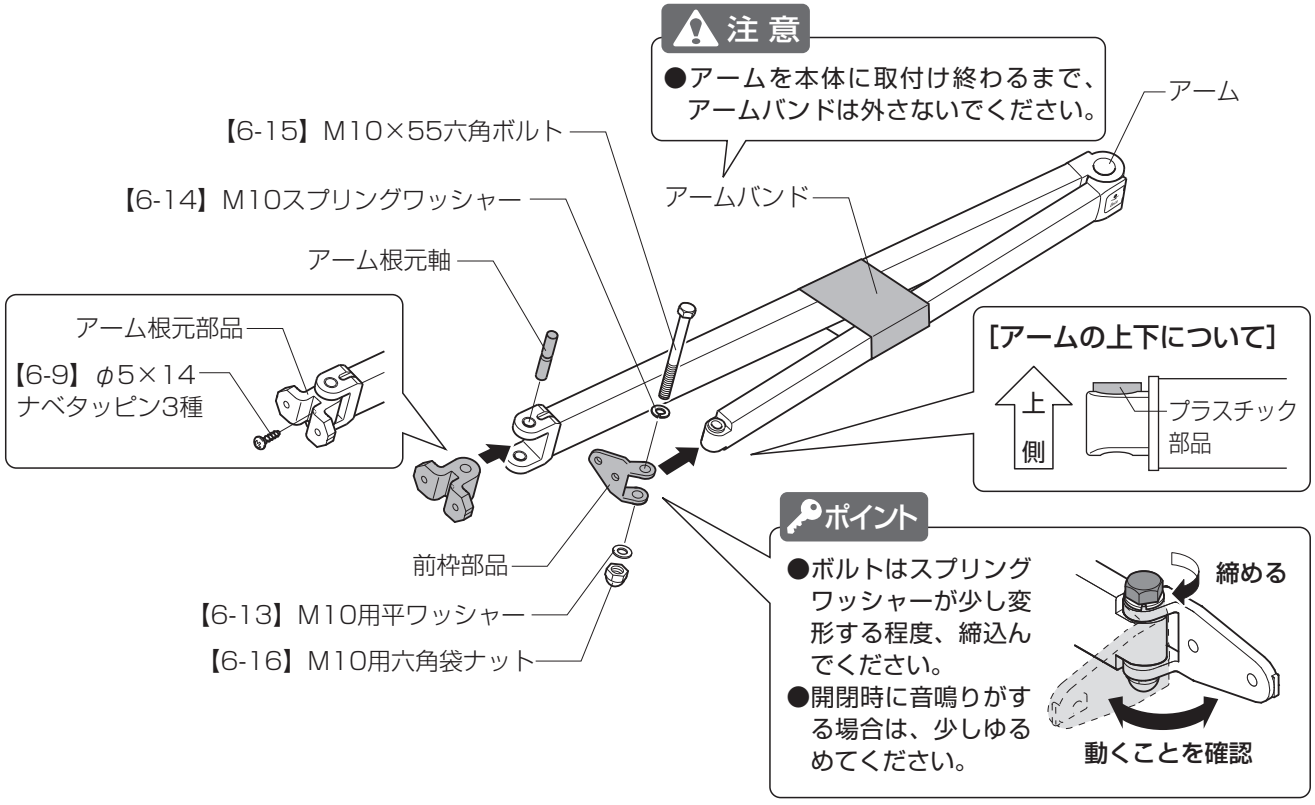
MAN-253A_201507
M021_201507B

取付け手順 ❶アームの組立て ▶ ❷前枠とキャンバスの接続

❶アームの組立て ※図は外観左用のアームを示します。

①アーム根元部品をアームの先端にはめてください。
②アーム根元軸を穴に挿入し、【6-9】で固定してください。
③前枠部品をもう一方のアームの先端に【6-13】、【6-14】、【6-15】、【6-16】で取付けてください。

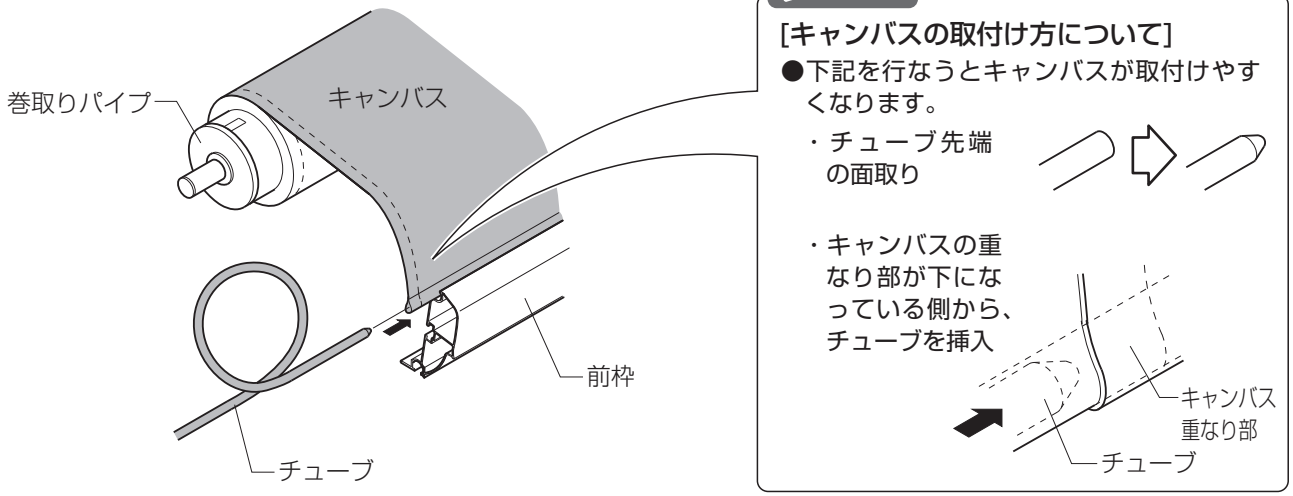
ポイント
●アームには左右があります。アームに貼ってある『右』『左』のシールを確認の上、作業を行なってください。



❷前枠とキャンバスの接続

2-1 キャンバスの取付け

①キャンバスの端を前枠に差込んでください。
②キャンバスを前枠に組込みながら、チューブを挿入してください。



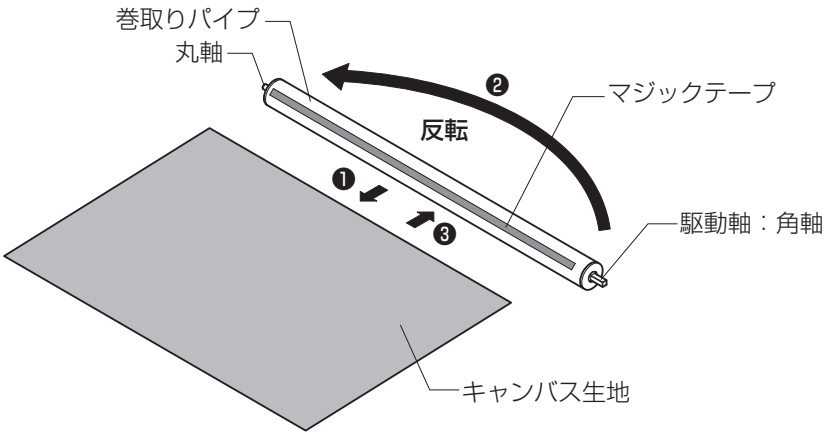
MAN-253B_202105
M021_202105C

2-2 駆動側を変更する場合 ※現場にて駆動位置を変更する場合の作業です。

補 足

●下図は外観右駆動を左駆動に変更する場合を示しています。
●巻取りパイプの左右を反転し駆動位置を変更します。

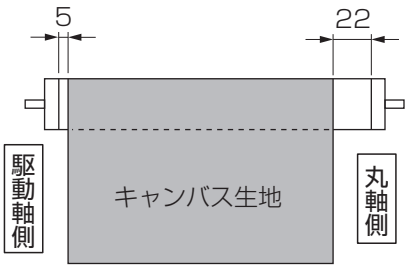
①巻取りパイプからキャンバス生地を外してください。
②巻取りパイプを左右反転してください。
③巻取りパイプにキャンバス生地を取付けてください。



ポイント

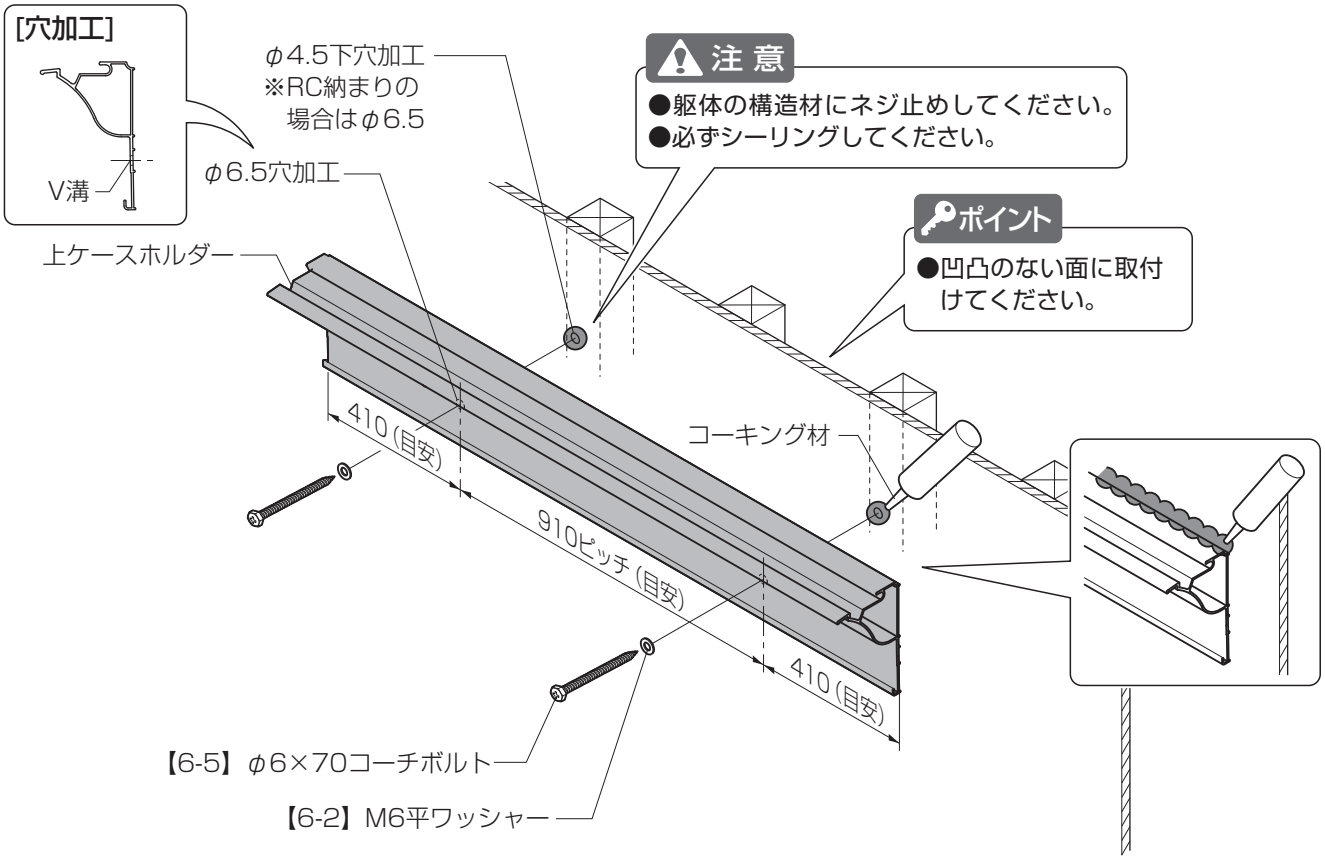
●キャンバス生地はシワが出ないよう取付けてください。

左駆動 の場合 [キャンバス取付位置]



3上ケースホルダーの取付け

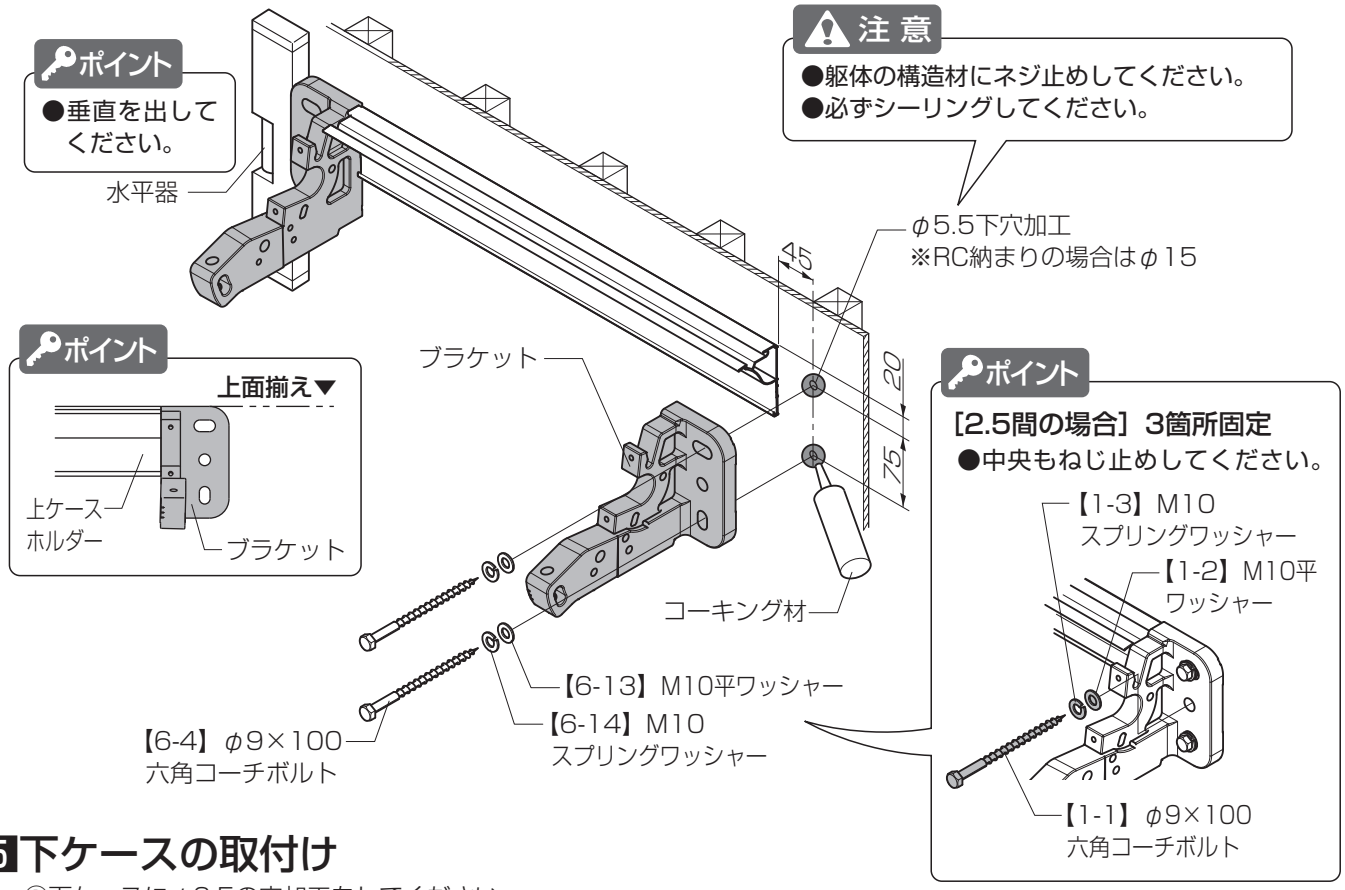
①上ケースホルダーにφ6.5穴加工をしてください。
②躯体にφ4.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
③上ケースホルダーを躯体に【6-2】、【6-5】で取付けてください。
④上ケースホルダーにシーリングしてください。



MAN-253D_202511
M021_202511E

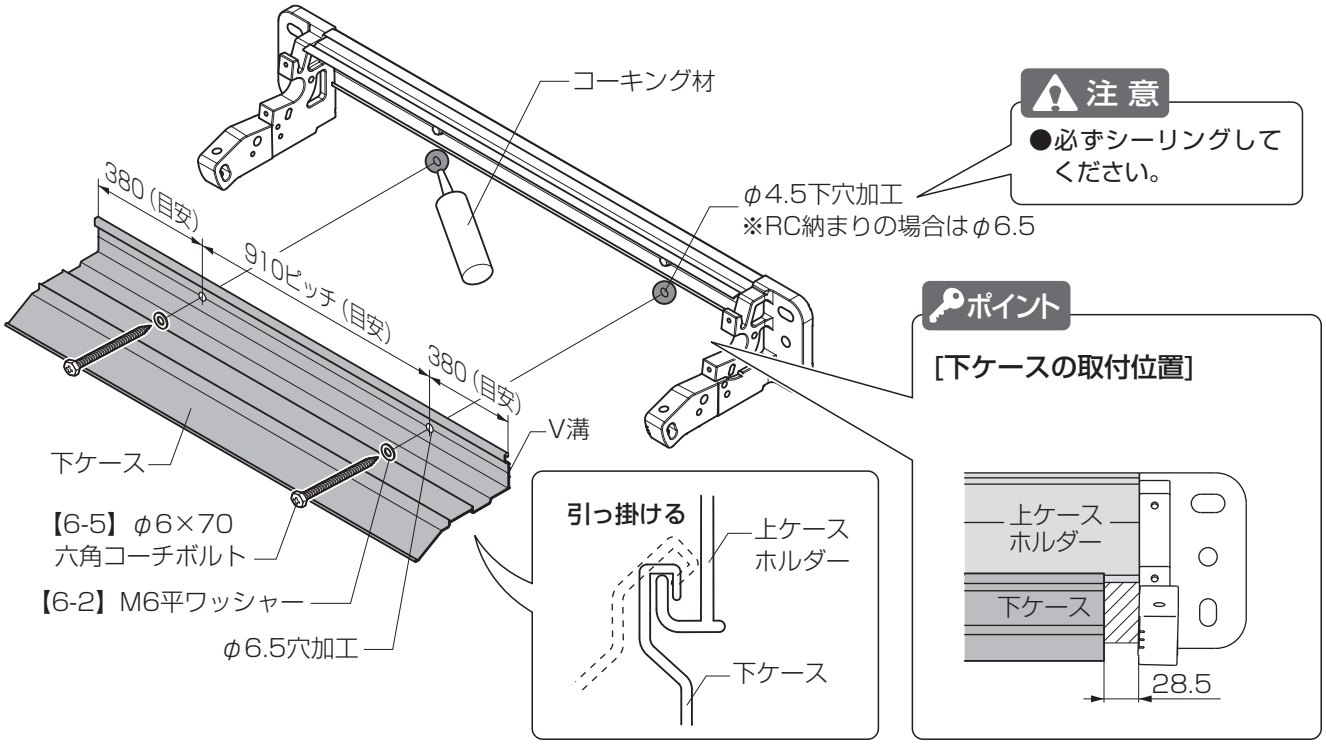
4ブラケットの取付け

①躯体にφ5.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
②ブラケットを躯体に【6-4】、【6-13】、【6-14】で取付けてください。



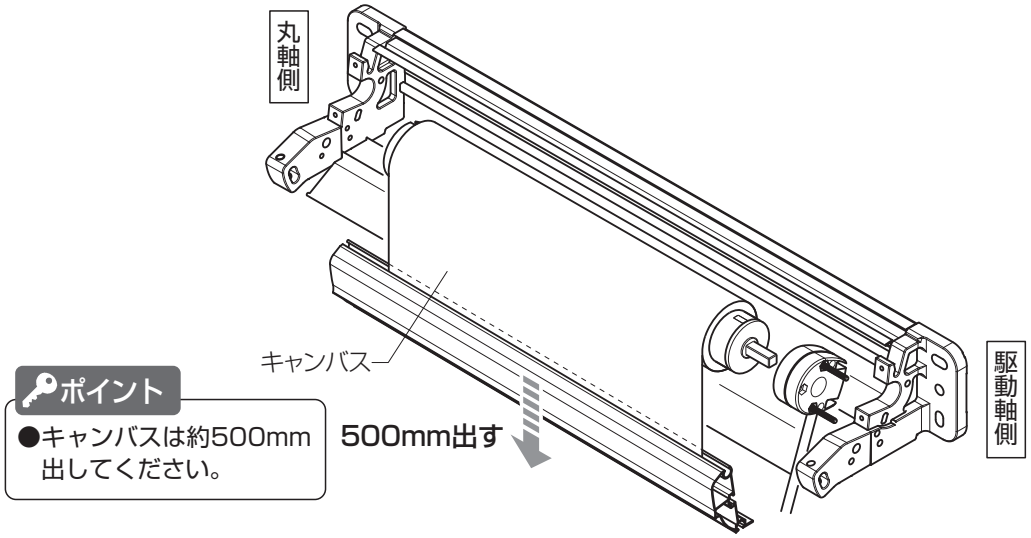
5下ケースの取付け

①下ケースにφ6.5の穴加工をしてください。
②躯体にφ4.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
③下ケースを上ケースホルダーに引っ掛け、躯体に【6-2】、【6-5】で取付けてください。



MAN-253D_202511
M021_202511E

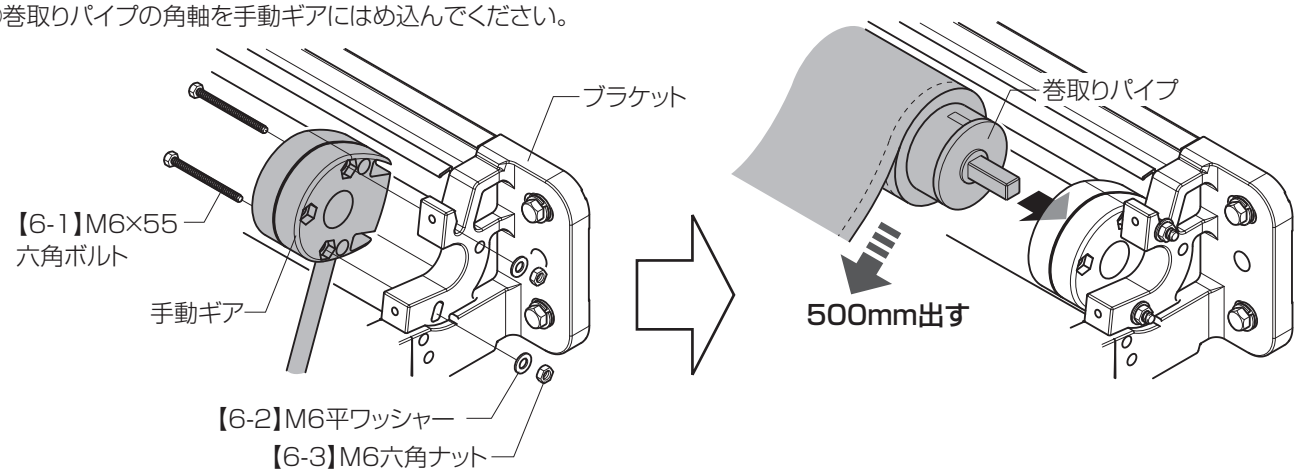
6巻取りパイプの取付け ※図は外観右側駆動になります。



ポイント
●キャンバスは約500mm出してください。

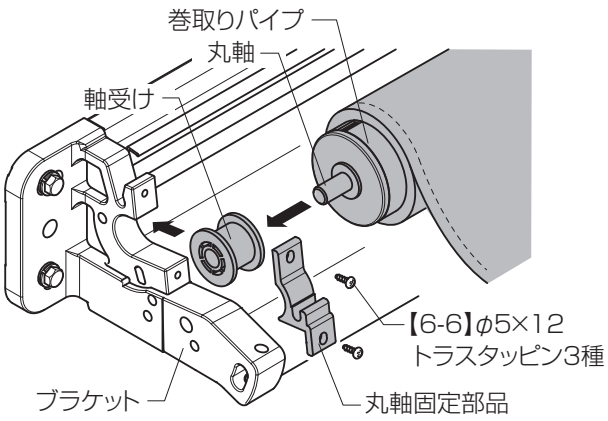
6-1 駆動軸側の取付け

①手動ギアをブラケットに【6-1】、【6-2】、【6-3】で取付けてください。
②キャンバスを500mm引出してください。
③巻取りパイプの角軸を手動ギアにはめ込んでください。

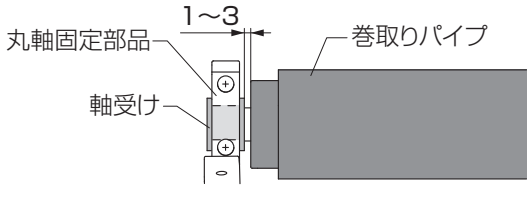


6-2 丸軸側の取付け

①軸受けと丸軸固定部品をブラケットに【6-6】で取付けてください。
②巻取りパイプの丸軸側を軸受けにはめ込んでください。



ポイント
●巻取りパイプと軸受けの間は、1mm～3mmあけてください。



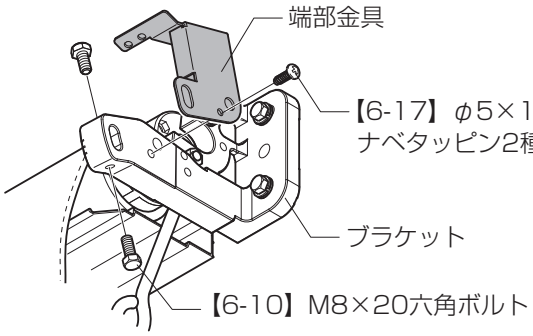
MAN-253A_201507
M021_201507B

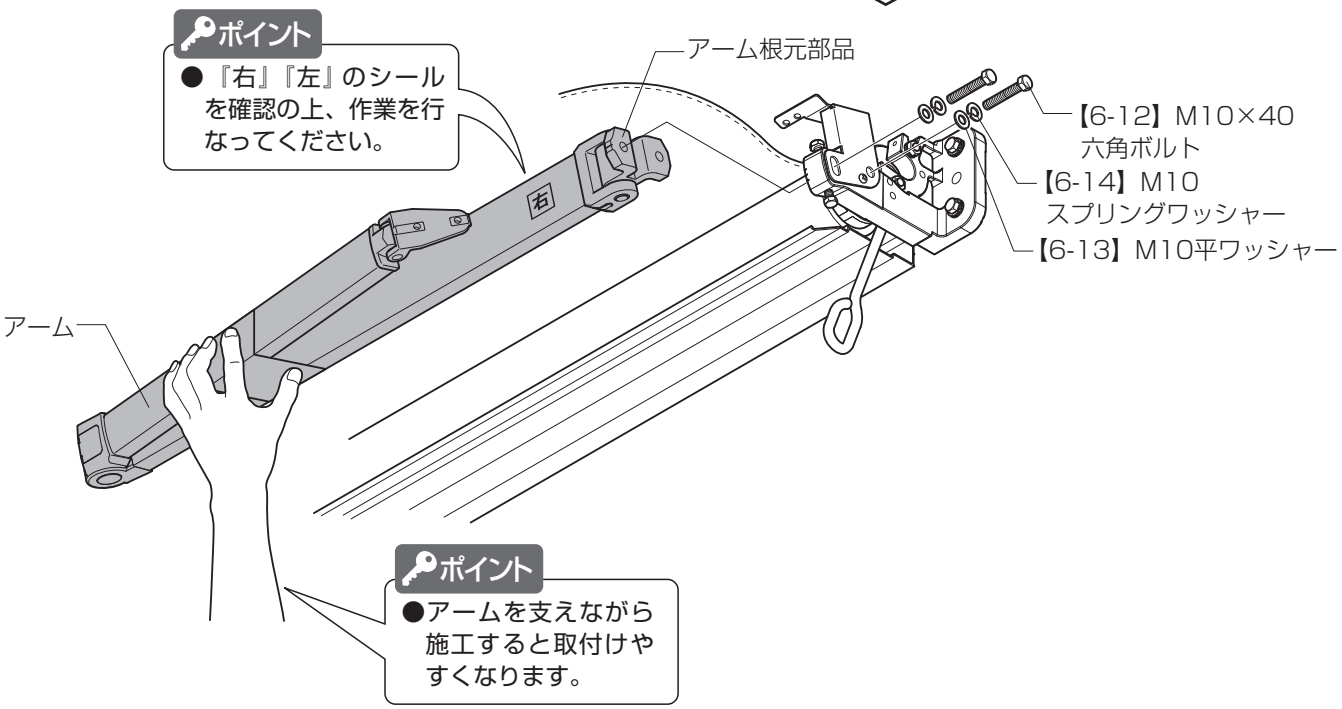
7アームの取付け ※図は外観右側駆動になります。

7-1 ブラケット側の取付け

（1）端部金具、アームの取付け

①端部金具をブラケットに【6-17】で取付けてください。
②【6-10】をブラケットに仮止めしてください。
③アームをブラケットに【6-12】、【6-13】、【6-14】で取付けてください。

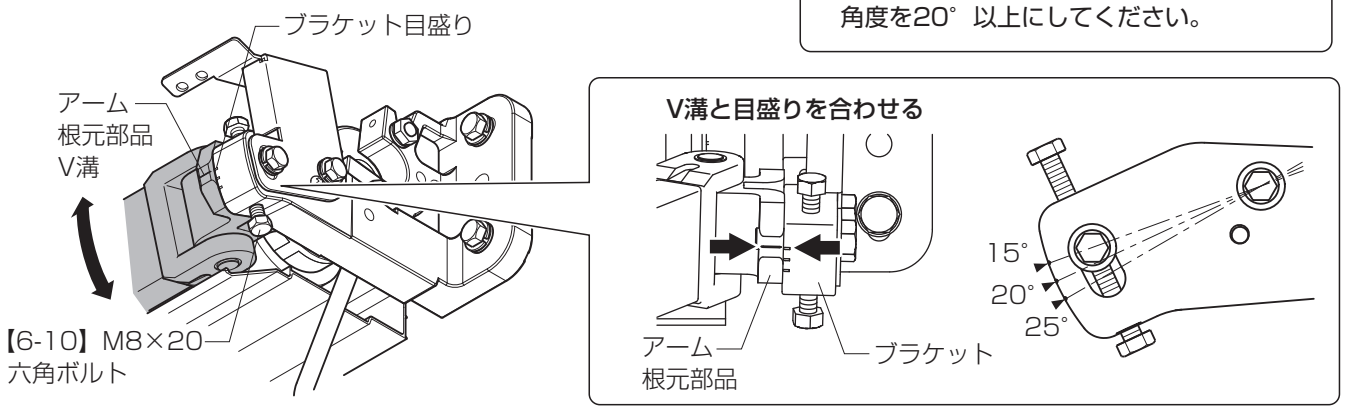




（2）アーム角度の調整

①アーム根元部品のV溝をブラケットの目盛りに合わせ、角度を決めてください。
②【6-10】を締め込み、角度を固定してください。

ポイント
- ●アーム角度は15°～25°の範囲で設定することがきます。
- ●雨天時（大雨を除く）に使用する場合は、角度を20°以上にしてください。



MAN-253A_201507
M021_201507B

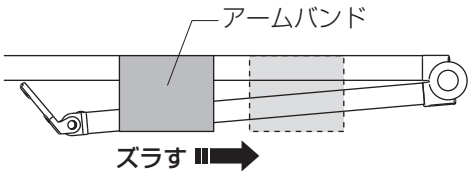
取付け手順 7アームの取付け

7-2 前枠側の取付け

①前枠取付け裏板を前枠に挿入してください。
②アームバンドをひじ側に少しズラしてください。
③アームの前枠部品と前枠を【6-2】、【6-11】で固定してください。

補 足

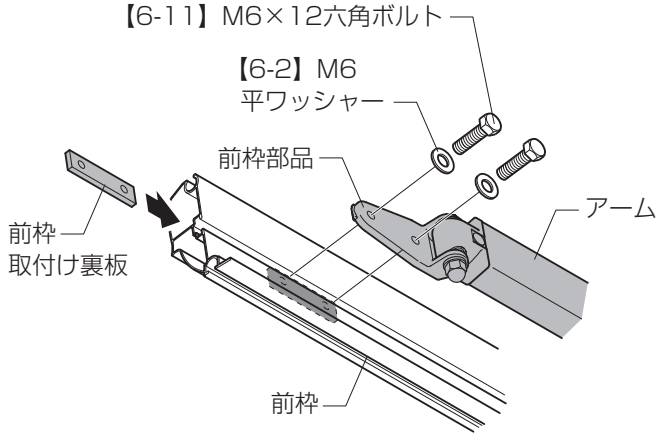
●アームバンドを少しズラすと作業しやすくなります。



ポイント

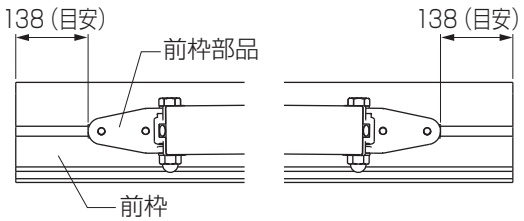
[キャンバスへのキズ防止のため]

●アームのひじ部分に布などを掛けてください。



ポイント

[前枠部品の固定位置]



●上記寸法は目安です。現場の状況により変わりますので、上ケース取付け後、ケース内に納まるよう調整してください。

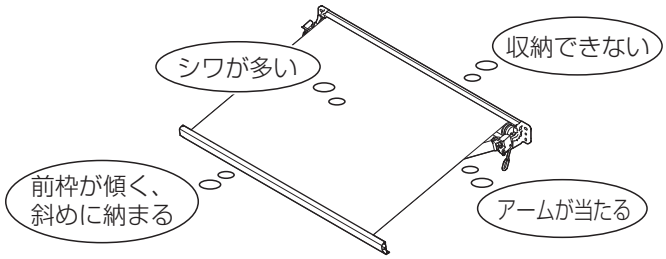
ポイント

●アームと前枠の固定が完了しましたら、アームバンドを取外してください。

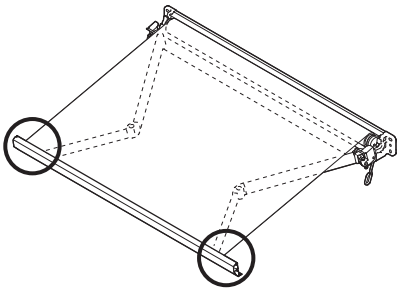
8納まりの確認・調整

ポイント

●キャンバスを開閉したときに、
・収納できない
・前枠が傾く、斜めに納まる
・シワが多く発生する
・アームが前枠や巻取りパイプに当たる
などの現象が起こる場合、以下項目の確認・調整を行なってください。



8-1 前枠部品の位置…… 左右均等になっていること。

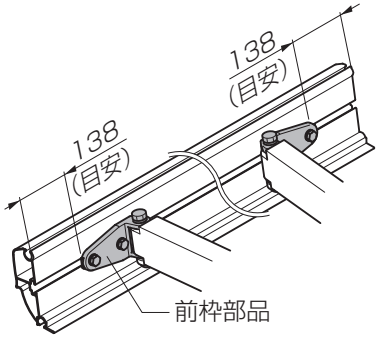


均等でないときは…

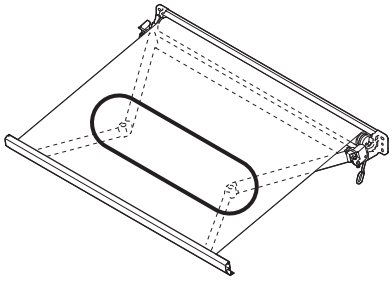
①前枠部品を左右均等に配置してください。

ポイント

●寸法は、サイズ・躯体条件により、微調整してください。

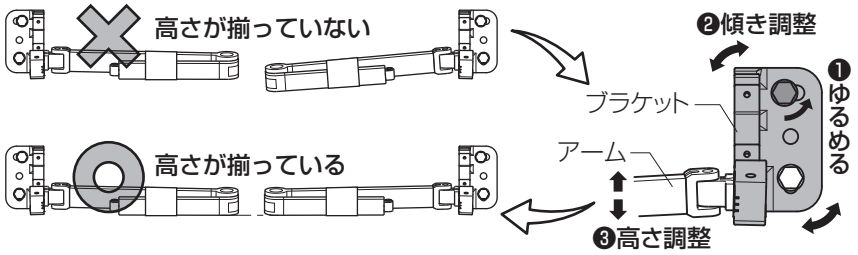


8-2 アームの高さ…… 左右同じ高さであること。



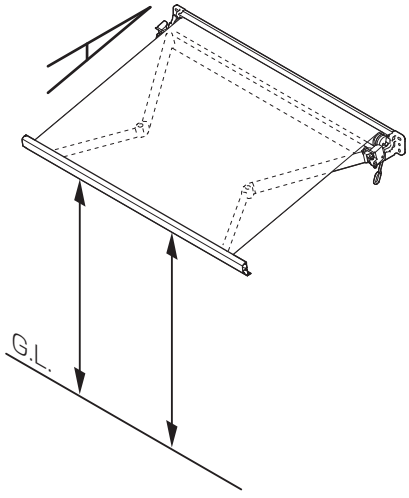
高さが違うときは…

①ブラケットの傾きを調整し、アームのひじの高さを揃えてください。



8-3 アームの角度…… 左右同じ角度に設定されていること。

前枠の水平（張出し時）…… 水平であること。



角度が違う、水平でないときは…

①M8、M10のボルトをゆるめてください。

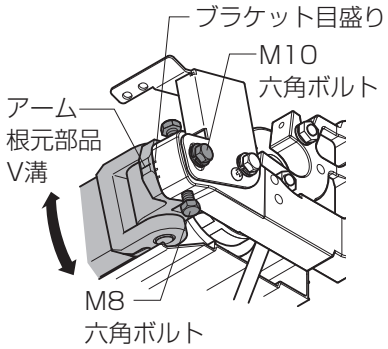
〈角度の調整〉

②アーム根元部品のV溝をブラケットの目盛りに合わせ、左右の角度を同じ角度に設定してください。

〈水平の調整〉

③左右どちらかの角度を微調整してください。

④ボルトを締めなおしてください。



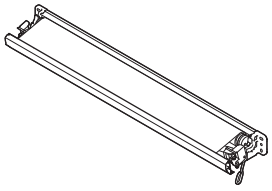
ポイント

●角度は、躯体条件により、微調整してください。

MAN-253A_201507
M021_201507B

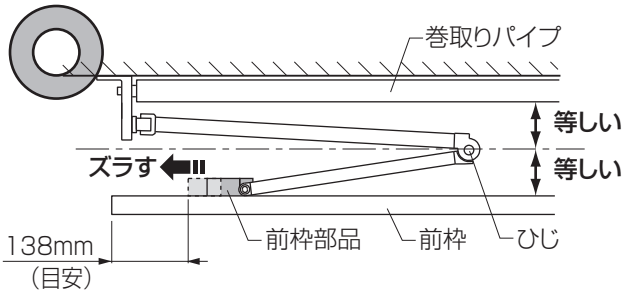
取付け手順 8納まりの確認・調整

8-4 収納時の納まり…… ひじが中央にあること。

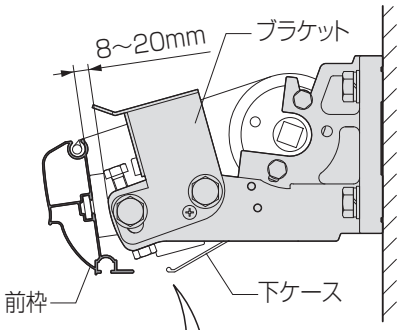


ひじが中央にこないときは…

①前枠部品を少しずつ移動させ、アームのひじが図の位置になるようにしてください。



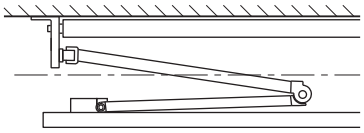
[収納時の納まり目安]



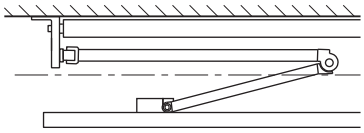
補 足

●前枠と下ケースのすき間は角度、躯体、出幅、キャンバス種類により異なります。

前枠側に寄っている



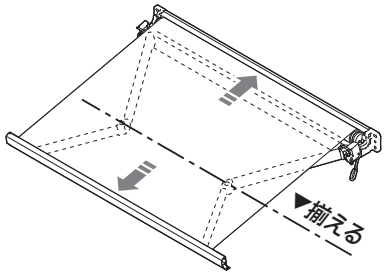
巻取りパイプ側に寄っている



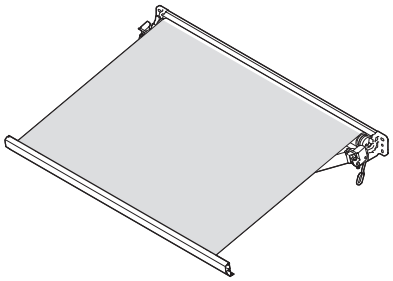
補 足

[開閉中にアームが左右均等にならない場合]

●開閉中にアームのひじを動かし、均等に調整してください。

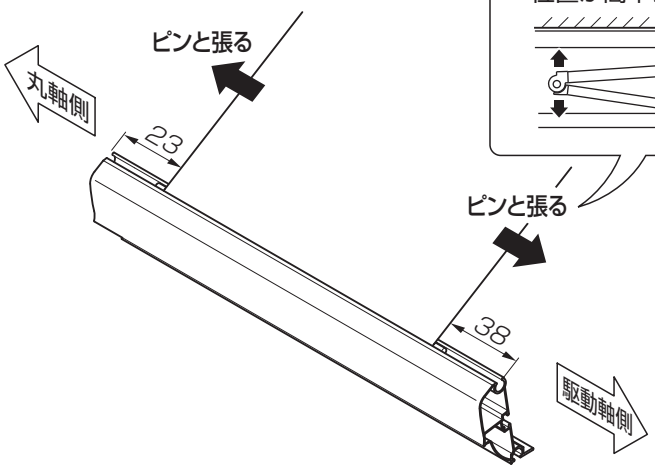


8-5 キャンバスの位置…… 指定位置であること。 ※図は外観右側駆動になります。



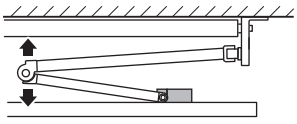
指定位置でないときは…

①図の位置になるようにキャンバスを引っ張ってください。



補 足

●収納500mm程度手前の位置でアームひじ部を前後に動かすと、キャンバスの位置が簡単にズレます。



MAN-253A_201507
M021_201507B

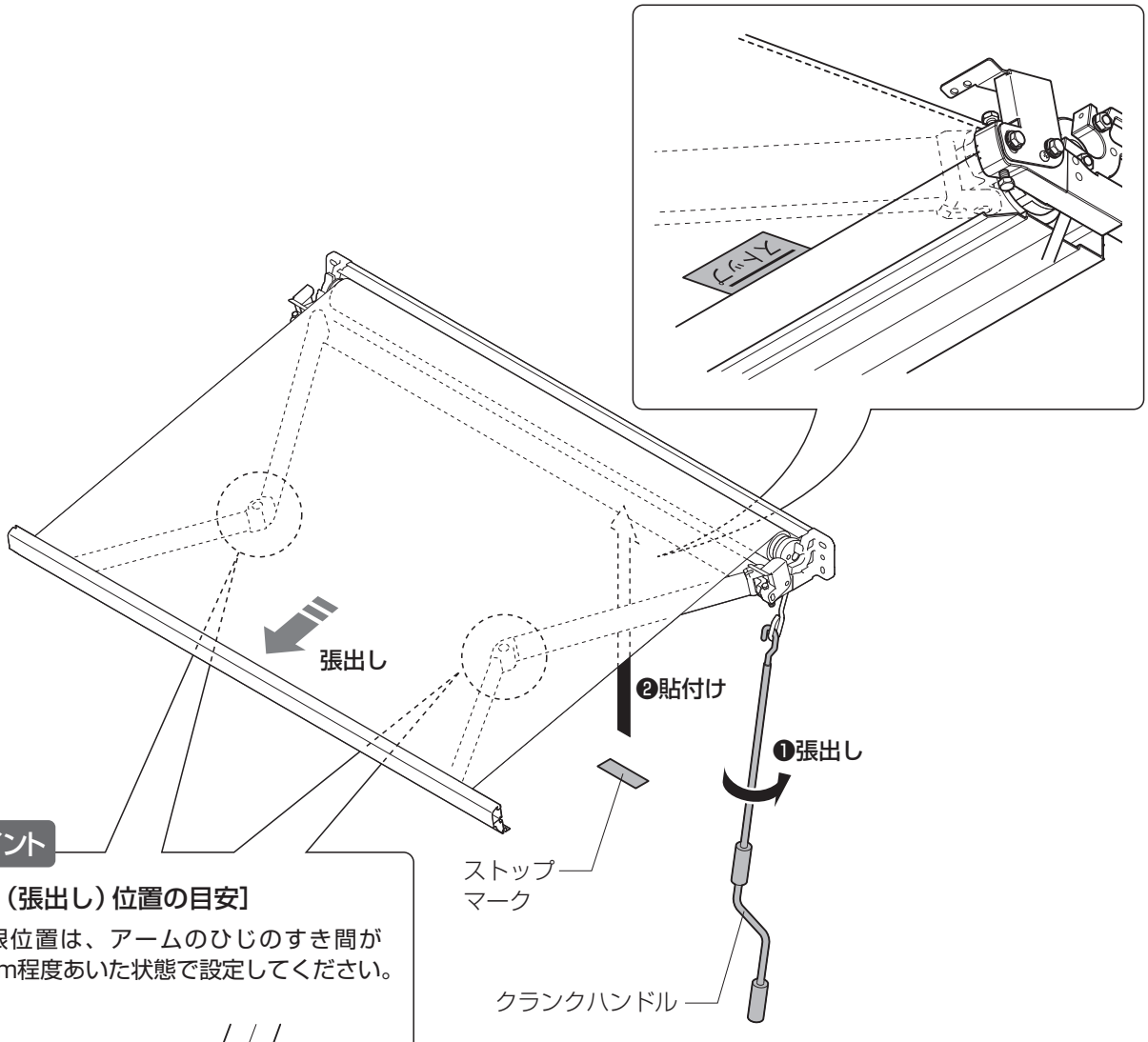
9開閉リミット（限界）調整

ポイント

●キャンバスを張出す場合、周囲に障害物（木の枝・電線・アンテナなど）がないか確認してください。
●リミット調整された範囲内であれば、途中停止状態でも使用できます。

（1）下限（張出し）位置の設定

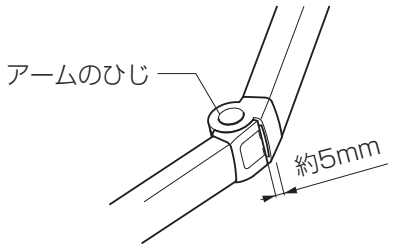
①クランクハンドルを操作してキャンバスを張出してください。
②ストップマークをクランクハンドル側のキャンパス内側に貼付けてください。



ポイント

［下限（張出し）位置の目安］

●下限位置は、アームのひじのすき間が5mm程度あいた状態で設定してください。



MAN-253C_202301
M021_202301D

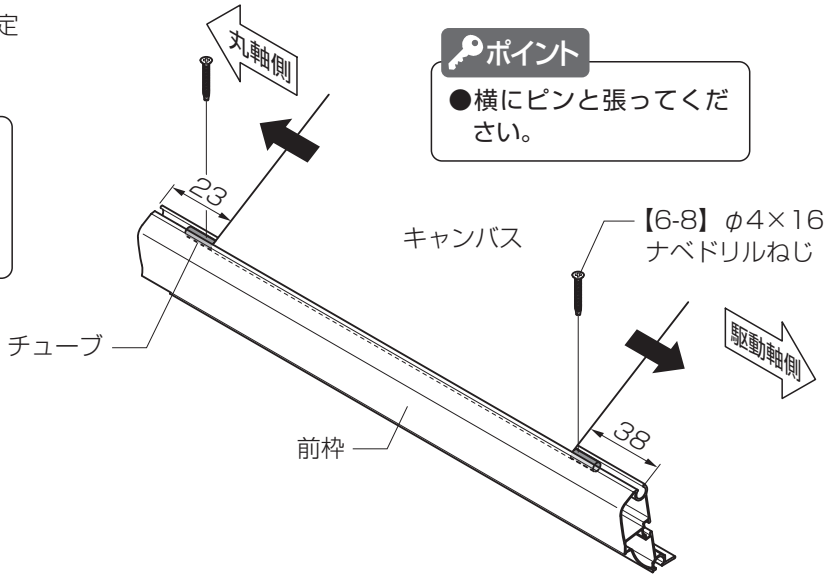
取付け手順 ⑩キャンバスの固定 ▶ ⑪ CR型 スクリーン前枠の取付け

⑩キャンバスの固定 ※図は外観右側駆動になります。

①チューブを前枠に【6-8】で固定してください。

補 足

●チューブを固定することで、キャンバス開閉時の横ズレ・巻きズレを防止することができます。



ポイント

●横にピンと張ってください。

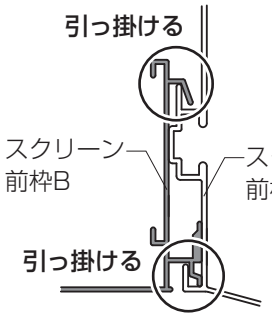
⑪ CR型 スクリーン前枠の取付け

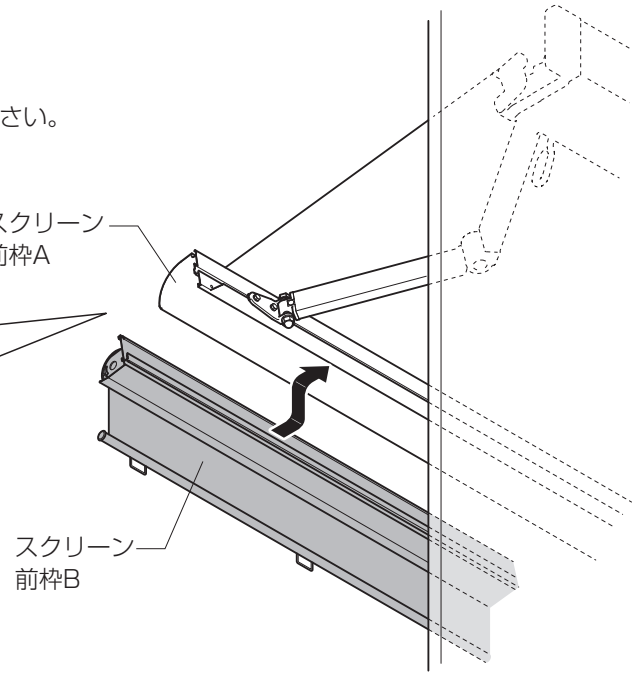
11-1 スクリーン前枠Bの取付け

①スクリーン前枠Bをスクリーン前枠Aに引っ掛けてください。

ポイント

●通しで引っ掛かっていることを確認してください。



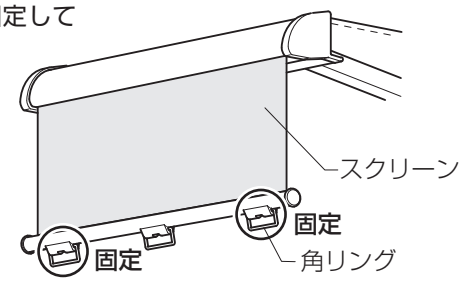


11-2 スクリーン固定金具の取付け

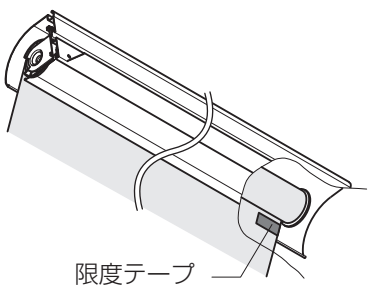
ポイント

●スクリーン固定金具を取付ける際は、以下を守ってください。

・スクリーンの両端2カ所で固定してください。



・スクリーンを張った状態にし、限度テープが見えない範囲で固定してください。

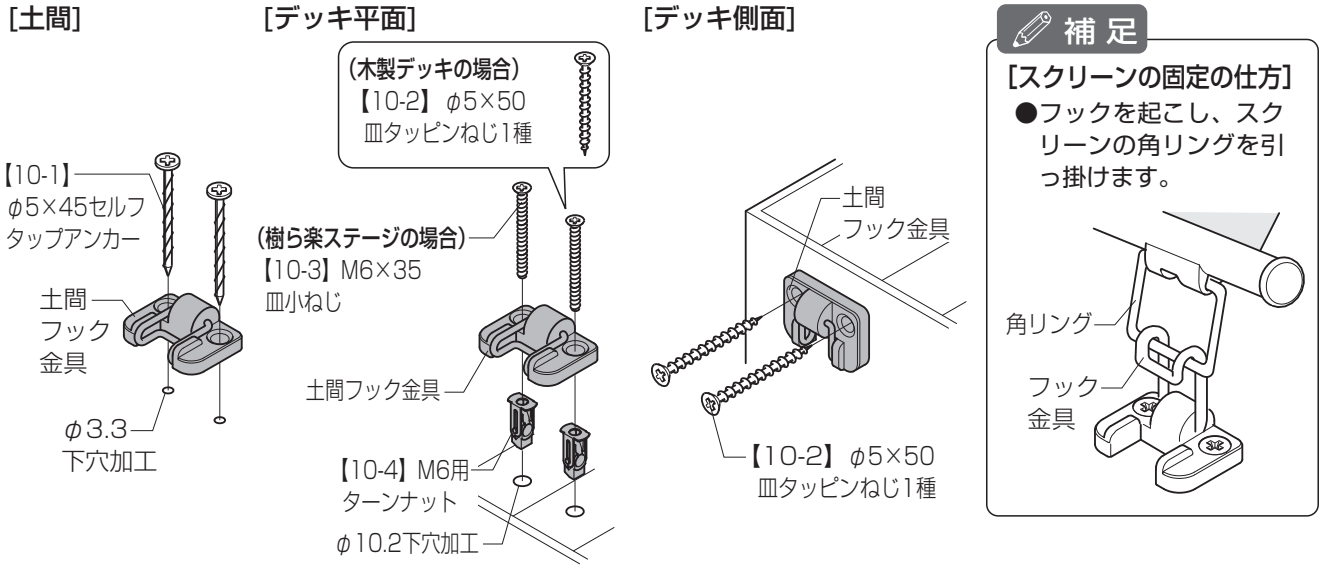


MAN-253A_201507
M021_201507B

取付け手順 11 CR型 スクリーン前枠の取付け

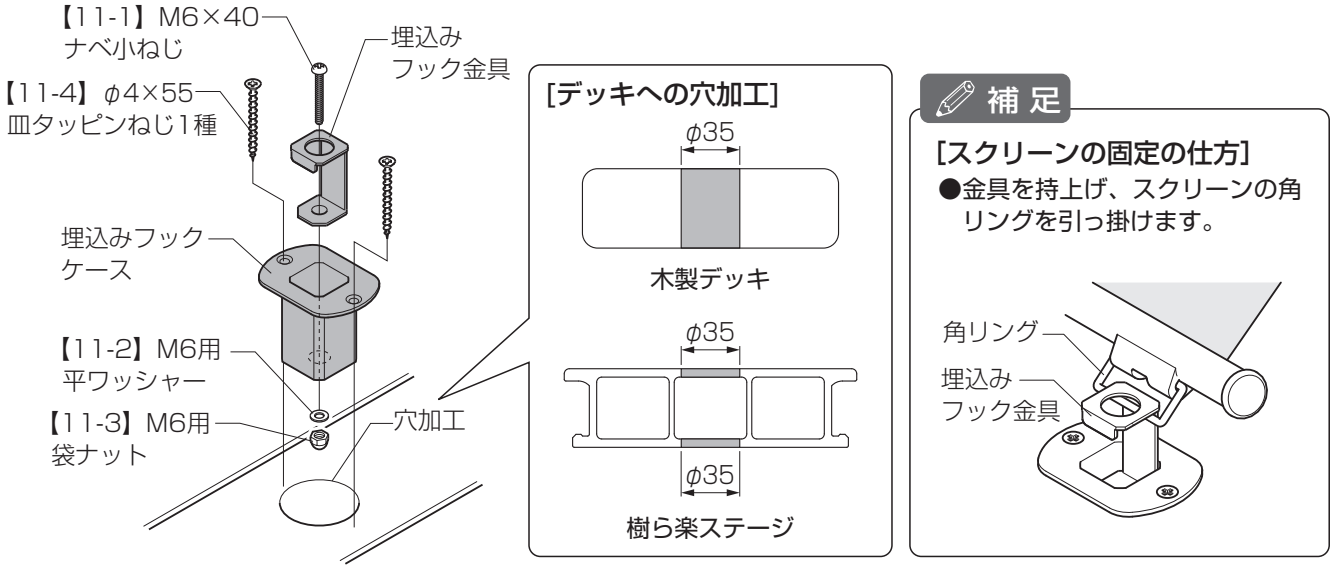
【フック金具 オプション の場合】

①土間フック金具を土間やデッキに【10-1】、【10-2】、【10-3】、【10-4】で取付けてください。



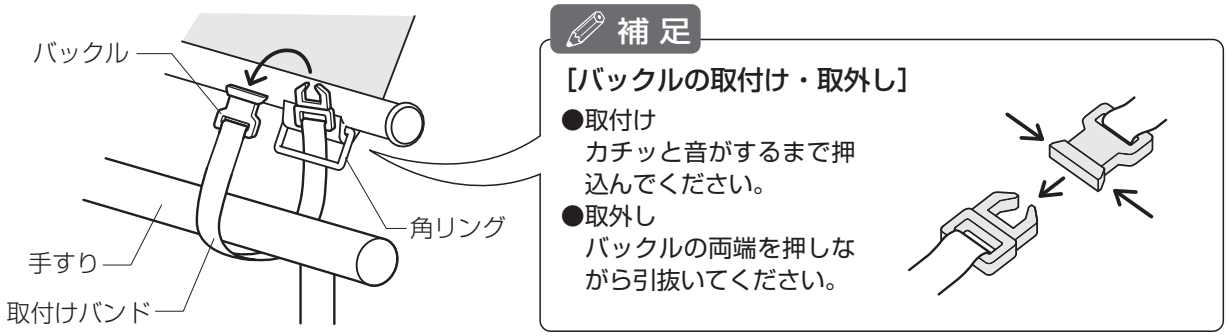
【埋込みフック金具 オプション の場合】

①埋込みフック金具を埋込みフックケースに組込み【11-1】、【11-2】、【11-3】で固定してください。
②床板に穴加工をし、埋込みフックケースを【11-4】で取付けてください。



【取付けバンド オプション の場合】

①取付けバンドを手すりと角リングに引っ掛け、バックルをはめてください。



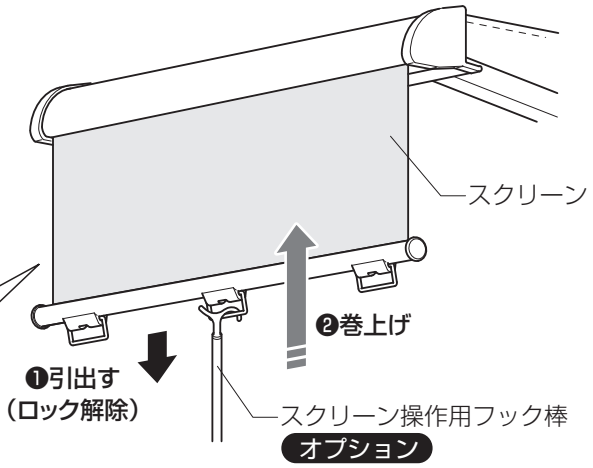
MAN-253D_202511
M021_202511E

11-3 スクリーンの動作確認

（1）巻上げの確認

①手すり、フック金具からスクリーンを外してください。
②中央の角リングを持ち、スクリーンを少し引き出してロックを解除してください。
③スクリーンが自動で巻上がります。

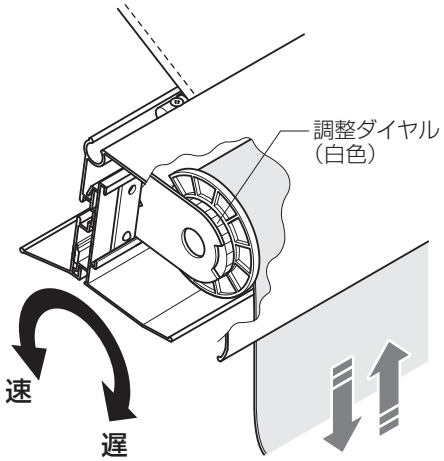
ポイント
●スクリーンが巻乱れないようにゆっくり操作してください。巻乱れは生地の消耗を早めます。



（2）巻上げ速さの調整

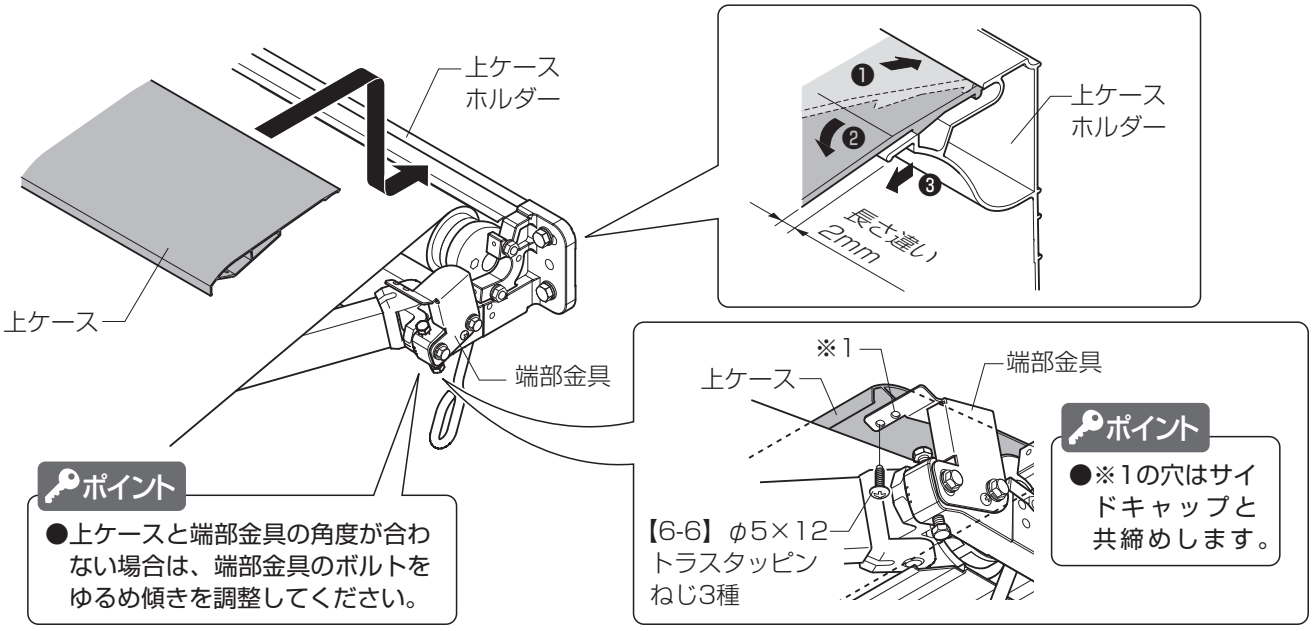
①調整ダイヤルを回して、巻上げ速さの調整をしてください。

補 足
●スクリーンを上下に操作しながらダイヤルを回すと調整しやすいです。



12上ケースの取付け

①上ケースを上ケースホルダーに差込んでください。
②上ケースを端部金具に【6-6】で固定してください。



ポイント
●上ケースと端部金具の角度が合わない場合は、端部金具のボルトをゆるめ傾きを調整してください。

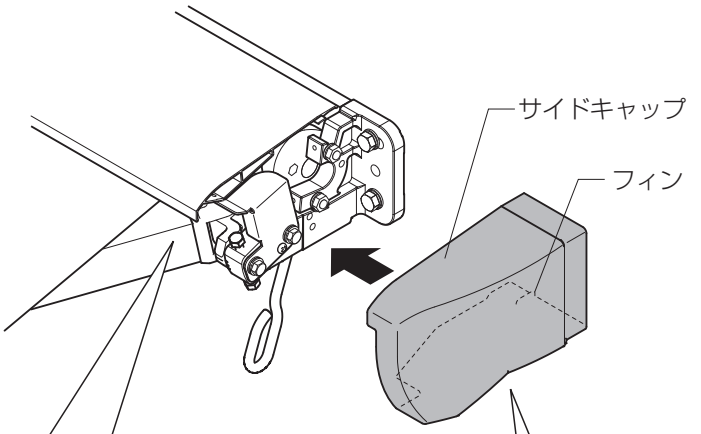
ポイント
●※1の穴はサイドキャップと共締めします。

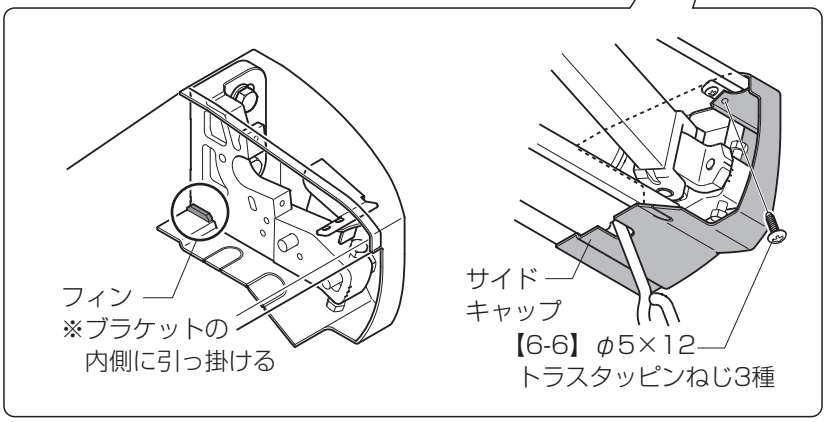
MAN-253A_201507
M021_201507B

⓭キャップの取付け

13-1 サイドキャップの取付け

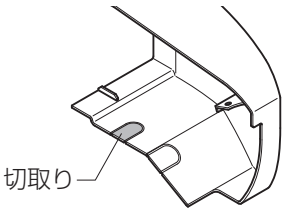
①駆動軸側のサイドキャップを加工してください。
②サイドキャップを端部金具に【6-6】で取付けてください。





ポイント

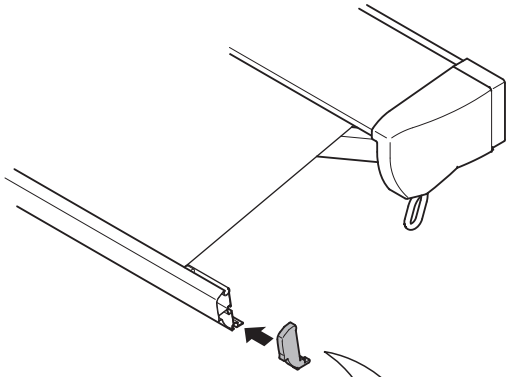
[駆動側サイドキャップの加工]
●U字部分をカッターで切取ってください。

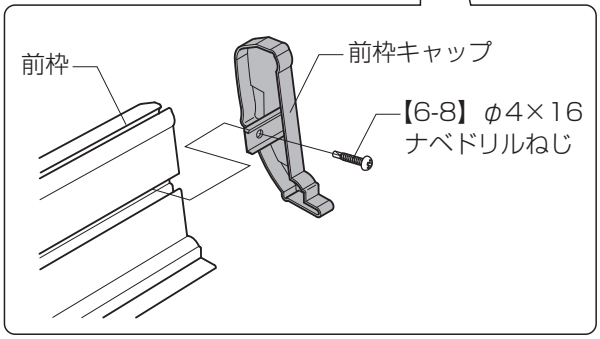


13-2 前枠キャップの取付け

【 C 型 の場合】

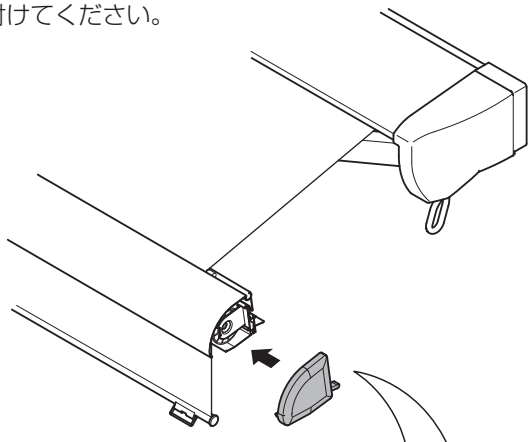
①前枠キャップを前枠に【6-8】で取付けてください。

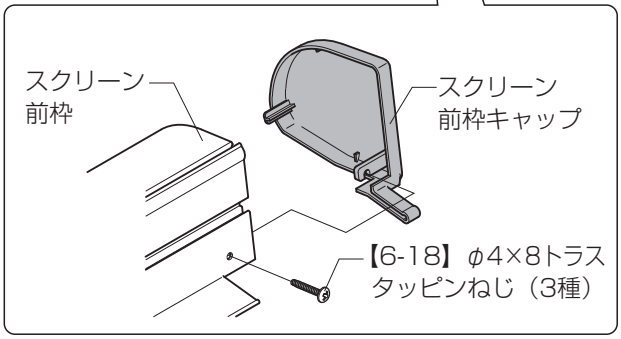




【 CR型 の場合】

①スクリーン前枠キャップをスクリーン前枠に【6-18】で取付けてください。





MAN-253A_201507
M021_201507B

ベースプレート（オプション）納まりの場合 1ベースプレートの取付け

補 足

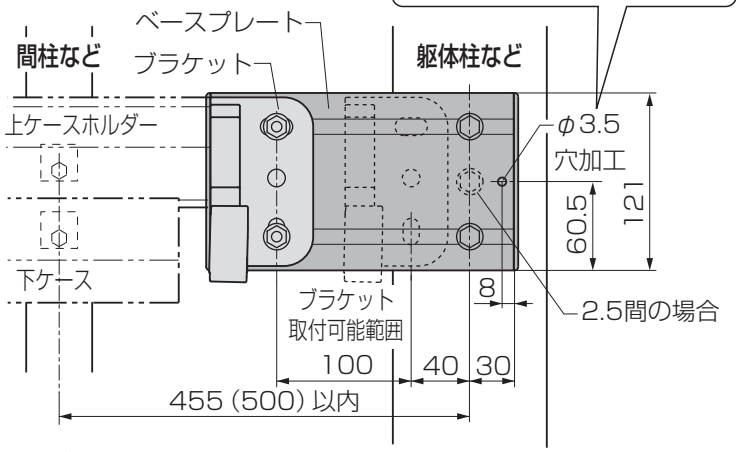
●ベースプレート（オプション）は躯体に不陸がある場合やブラケットを直接構造材に取付けられない場合に使用する調整部材になります。
●経年変化などで躯体の損傷が著しい場合は、お施主様と打合せをし、必要に応じて補修してから取付けてください。
●設定サイズは「L＝215」「L＝600」「L＝3330」「L＝4240」「L＝5150」となります。
L=3330･4240･5150の場合、固定用のネジは別梱包(【5-1】～【5-6】）となりますのでそちらをご使用ください。

1ベースプレートの取付け

1-1 L=215：ブラケット位置が柱の内側（片支持）の場合

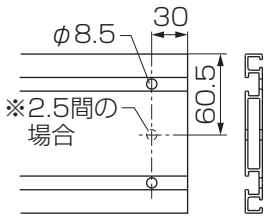
ポイント
●片側のみ加工してください。

①各部材の取付け位置を確認してください。
②ベースプレートに端部キャップ用のφ3.5穴をあけてください。



③ベースプレートの躯体固定位置にφ8.5の穴をあけてください。
④躯体にφ5.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
⑤ベースプレートを躯体に【3-1】【3-3】で取付けてください。

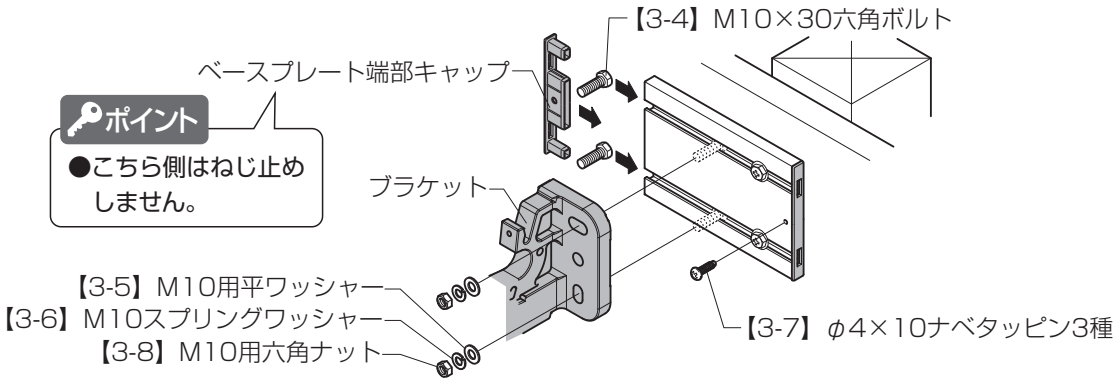
ポイント
●RCアジャストアンカー納まりの場合は2.5間でも2箇所止めです。



注 意
●躯体の構造材にネジ止めしてください。
●必ずシーリングしてください。

⑥【3-4】をベースプレートに差込んでください。
⑦ブラケットをベースプレートに【3-4】【3-5】【3-6】【3-8】で取付けてください。
⑧端部キャップをベースプレートに取付けてください。

ポイント
●こちら側はねじ止めしません。

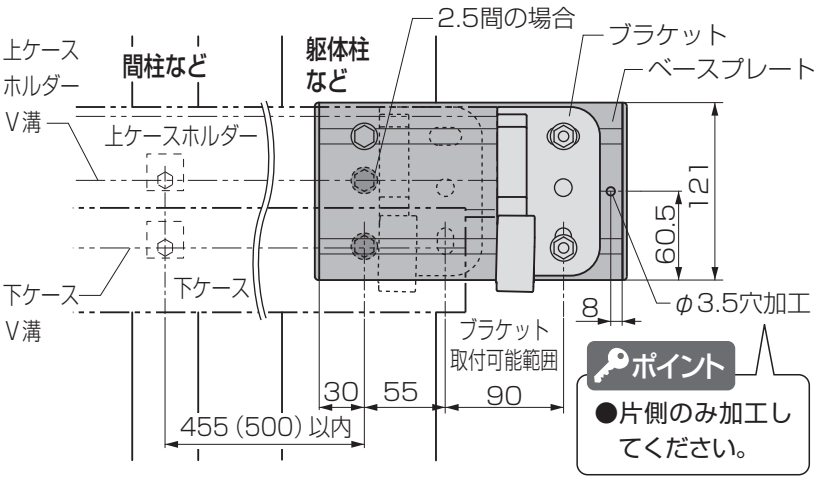


MAN-253D_202511
M021_202511E

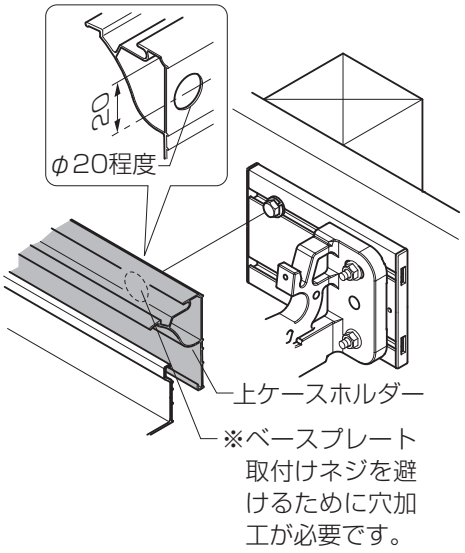
1-2 L=215：ブラケット位置が柱の外側（片支持）の場合

①各部材の取付け位置を確認してください。
②ベースプレートに端部キャップ用のφ3.5穴をあけてください。
③上ケースホルダーにベースプレート取付けネジを避けるためのφ20程度の穴をあけてください。

ポイント
●下図 ◎ のネジは上ケースホルダー、下ケースと共締めになります。
（取付け詳細はP.28「2 上ケースホルダー、下ケースの取付け」参照）

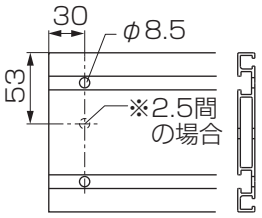


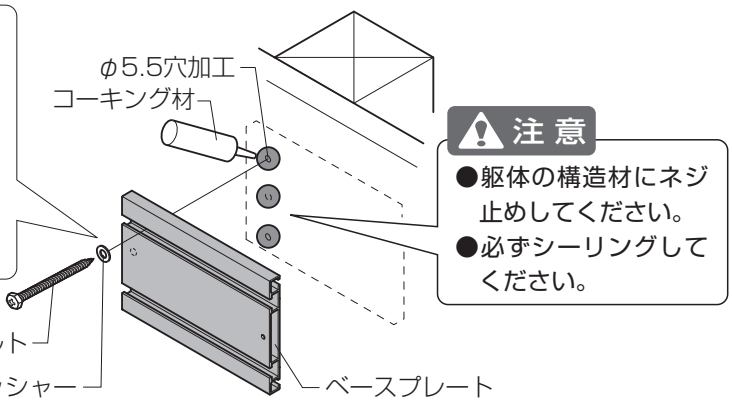
ポイント
●片側のみ加工してください。



③ベースプレートの躯体固定位置にφ8.5の穴をあけてください。
④躯体にφ5.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
⑤ベースプレートを躯体に【3-1】【3-3】で取付けてください。

ポイント
●穴加工は2箇所（2.5間の場合3箇所）行ないますが、固定は1箇所のみ行なってください。

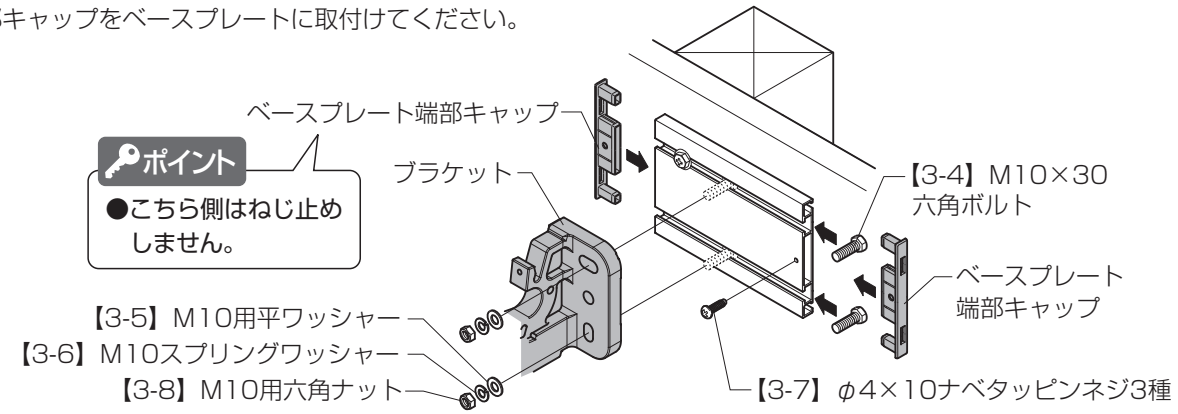




注意
●躯体の構造材にネジ止めしてください。
●必ずシーリングしてください。

⑥【3-4】をベースプレートに差込んでください。
⑦ブラケットをベースプレートに【3-4】【3-5】【3-6】【3-8】で取付けてください。
⑧端部キャップをベースプレートに取付けてください。

ポイント
●こちら側はねじ止めしません。



MAN-253A_201507
M021_201507B

ベースプレート（オプション）納まりの場合 1ベースプレートの取付け

1-3 ベースプレート　L＝600・3330・4240・5150の場合

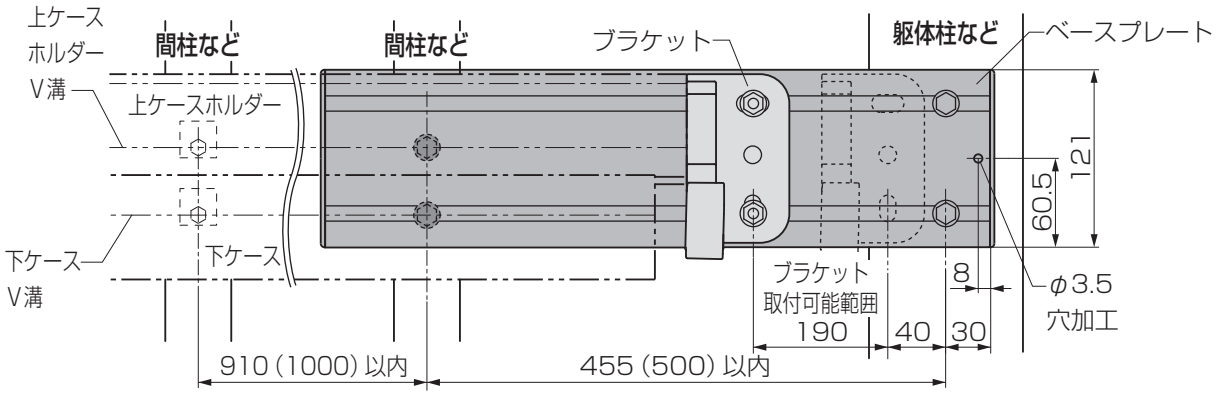
ポイント

●ブラケットをはさむ直近のベースプレート固定は【3-1】、【3-3】で2箇所ずつ固定してください。

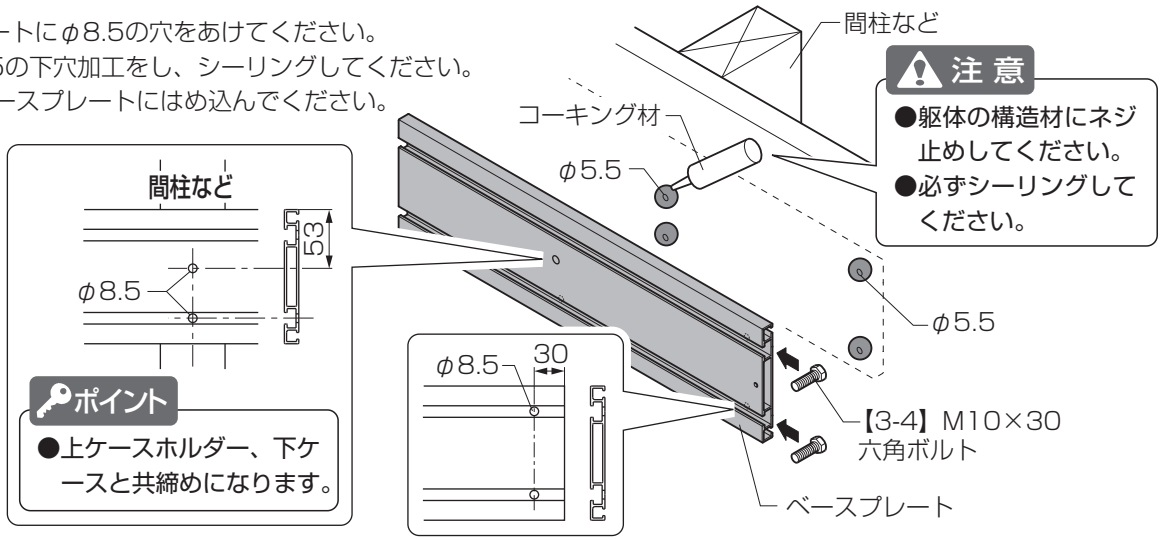
①各部材の取付け位置を確認してください。
②ベースプレートに端部キャップ用のφ3.5穴をあけてください。

ポイント

●下図 ◌ のネジは上ケースホルダー、下ケースと共締めになります。
（取付け詳細はP.28「2上ケースホルダー、下ケースの取付け」参照）



③ベースプレートにφ8.5の穴をあけてください。
④躯体にφ5.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
⑤【3-4】をベースプレートにはめ込んでください。



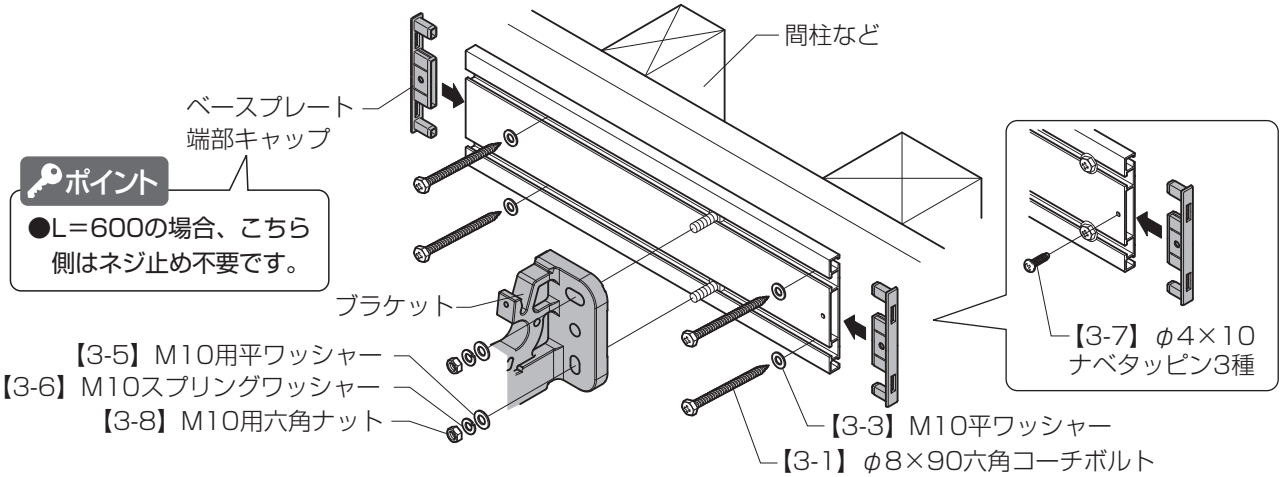
注意

●躯体の構造材にネジ止めしてください。
●必ずシーリングしてください。

ポイント

●上ケースホルダー、下ケースと共締めになります。

⑥ベースプレートを躯体に【3-1】【3-3】で取付けてください。
⑦ブラケットをベースプレートに【3-4】【3-5】【3-6】【3-8】で取付けてください。
⑧端部キャップをベースプレートに取付けてください。



ポイント

●L＝600の場合、こちら側はネジ止め不要です。

MAN-253D_202511
M021_202511E

2上ケースホルダー、下ケースの取付け

ポイント

●取付ける際は必ず躯体などの構造材に取付けてください。

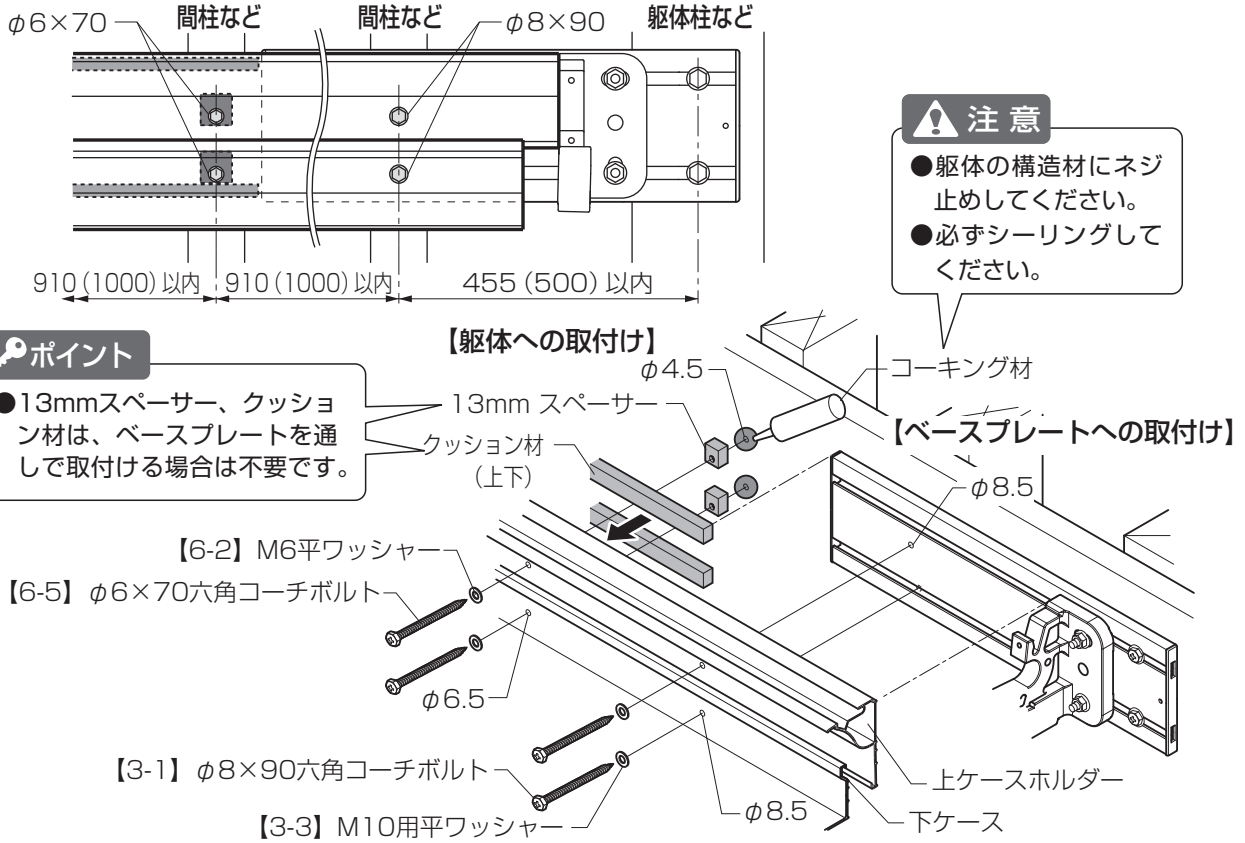
【躯体への取付け】

①躯体にφ4.5の下穴加工をし、シーリングしてください。

②上ケースホルダー、下ケースに13mmスペーサー、クッション材を貼付け【6-2】【6-5】で躯体に取付けてください。

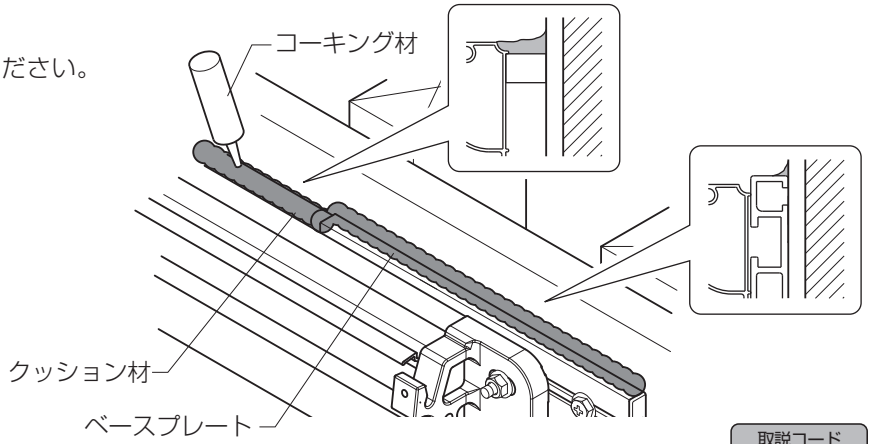
【ベースプレートへの取付け】

①上ケースホルダー、下ケースを【3-1】【3-3】でベースプレートに取付けてください。



3シーリング処理

①躯体とのすき間にシーリングをしてください。



取説コード
M021

TOSMAN253D
201302A_1047
202511E_1100